

2019年度スローガン

公益社団法人日本青年会議所 スローガン 共に心躍る未来へ 「やりましょう！」	公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 スローガン 挑戦する人財が導く経済再生 と地域強靱化による 未来への希望溢れる 中国の創造
公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 スローガン 成長が導く道徳愛に溢れ 心躍る岡山の創造	公益社団法人岡山青年会議所 スローガン Excite! okayama

〔目 次〕

[1]公益社団法人岡山青年会議所	2019年度	基本理念 基本方針	
[2]公益社団法人岡山青年会議所	2019年度	理事長所信	
[3]副理事長方針			
[4]専務理事・常任理事方針			
[5]委員長事業計画			
[6]監事抱負			
[7]公益社団法人岡山青年会議所	2019年度	委員会職務分掌	
[8]公益社団法人岡山青年会議所	2019年度	年間公式スケジュール表	
[9]公益社団法人岡山青年会議所	2019年度	組織図	
[10]公益社団法人日本青年会議所	2019年度	出向者	
[11]公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会	2019年度 出向者	
[12]公益社団法人日本青年会議所	中国地区 岡山ブロック協議会	2019年度 出向者	
[13]公益社団法人岡山青年会議所	2019年度	理事長セクレタリー	
[14]公益社団法人岡山青年会議所	2019年度	役員選挙管理委員会 委嘱メンバー	
[15]公益社団法人岡山青年会議所	2019年度	収支予算書	
(付)公益社団法人岡山青年会議所	2019年度	理事長公職委嘱表	
公益社団法人日本青年会議所	2019年度	組織図	
公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会	2019年度 組織図	
公益社団法人日本青年会議所	中国地区 岡山ブロック協議会	2019年度 組織図	
公益社団法人岡山青年会議所	歴代理事長		

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度

基本理念

無難ではなく大胆に、守りではなく攻めの姿勢で。リスクを恐れず青年らしく、わくわくする発想力と挑戦心で、岡山青年会議所の魅力と存在価値を高めていこう。新しい時代の幕開けにふさわしい、時代に合わせたバージョンアップをしよう。

基本方針

礼儀礼節を重んじ、感謝の念をもって、まちやひとのために行動できる人財を育成しよう。仲間と共に限界を越えられるような感動体験を積み上げ、自分たちが成長し続けることで、岡山青年会議所の魅力と存在価値を高めよう。

誰もがわくわくするまちの実現のため、おかやまにしかない「らしさ」を発信し、青年らしい発想力をもって、誰をも魅了する事業を展開しよう。ブランディングを加速し、人が集まり、誰もが好きになる、おかやまを創出しよう。

代々受け継がれてきた「おもてなしの心」にくわえ、参加する一人ひとりが前のめりになって、刺激しあえる期待感のある場を創出しよう。礼儀礼節を学ぶだけではなく青年経済人としての成長する場を提供し続けよう。

青年らしい豊かな発想力と積極的な発信力で、未来の礎を築く一年を創り上げよう。自分自身の成長により組織のブランド価値を高め、存在価値のある団体へ昇華し、未来を創る仲間を増やしていこう。

地域からの信頼を強固なものとし、次世代に引き継ぐために岡山青年会議所の存在価値を高めていこう。リスクを恐れない新しい価値創造に挑戦する攻めの姿勢の組織運営で、組織の活性化を促進していこう。

理事長所信

公益社団法人岡山青年会議所

第69代理事長 古市聖一郎

わたしたちは、20世紀から21世紀、昭和から平成、そして平成から新元号へと、3つの大きな変革点を経験する稀有な世代です。言い方を変えれば、新時代の変革と、それに相応しい新たな価値創造を託された担い手ともいえます。時代の変遷に目を向ければ、SNS、AI、IoTなど10年前には耳にすらしなかった言葉や技術が台頭し、我々の生活や文化を劇的に変え、これまでにない多様な価値観を奨励する新たな社会を、今、まさに形成しようとしています。また、郷土「おかやま」では、駅前再開発や路面電車の駅構内への乗り入れ、岡ビル再開発や市民会館の移転など、全国でも珍しい建設ラッシュでまちが生まれ変わろうとしています。

一方で、先般の西日本豪雨のような未曾有の災害に見舞われるなど、まさに何が起こるかわからない時代でもあり、だからこそ、2019年を変革元年と捉えた取り組みが必要といえます。さて、そんな中、岡山青年会議所がすべきこととは何でしょうか。地域経済がさらに発展し、明るい未来を歩むために必要なものとは何でしょうか。あるいは、今の岡山青年会議所に足りないものとは何でしょうか。それは、岡山にとって唯一無二である、この団体ならではの何かを起こしてくれそうな「わくわく感」であり、青年だからこそそのリスクを恐れない「チャレンジ精神」であるとわたしは考えています。地方創生が掲げられてから久しく、人口減少や少子高齢化など、我々が抱える課題は山積しています。こうした課題と向き合い魅力ある「おかやま」を創っていくには、既存のやり方や常識の延長ではない新しい価値創造が不可欠です。岡山青年会議所が築いてきた歴史と伝統という揺るぎない強みを活かし、小さくまとまることなく、リスクの先にあるわくわくするような事業を展開し、地域を牽引していく。そして、それらの活動を実現する個のパワーと魅力によって、次の仲間を惹きつけ、増やしていく。そんな未来に向かって輝くバージョンアップされた岡山青年会議所を創るとともに、「郷土おかやま」を新時代に相応しいまちへと導いていきましょう。

<ひとづくり室> 次代を照らす人材へとバージョンアップ

岡山青年会議所が、他の団体に比べ誇るべき価値。それは、連綿と受け継がれてきたひとづくりの文化に他なりません。そこに培われた伝統を、一見すれば時代にそぐわないと感じてしまうこともあるかもしれません。しかし、岡山青年会議所の研修は必ずひとを成長させ、必ず新たな価値観を植え付けてくれることは、歴史や数多の先輩たちが証明してくれています。「大変」という字は「大きく変わる」と書きます。変化こそ成長です。成長することは「大変」ですが、そんな機会を与えてくれる団体は岡山青年会議所だけだとわ

たしは信じています。岡山青年会議所は、さまざまな考え方や価値観をもった者同士が、お互いに高め合うことのできる「学び舎」です。さまざまな事業や活動を通して学ぶ礼儀礼節や利他の精神は、自助努力だけでは決して到達し難いかけがえのないものです。しかし、これらの尊い価値は入会してからでしかわかりません。岡山青年会議所に入会している一人ひとりが、次の会員を生む広告塔となるべく輝きを放てなければ、次世代の担い手に岡山青年会議所の価値が届かないのです。「入会するからには自社を伸ばす、拡大する」そんな気概のもとにこれまで以上に切磋琢磨し、岡山青年会議所とともに一人ひとりが新時代に相応しい経済人としての確固たる成長を実感すること、そして、次世代の魅力ある手本となっていくこと。これこそ、今求められるひとつづくりの本質です。

＜まちづくり室＞ おかやま「らしさ」をバージョンアップ

先般、西日本豪雨の被害には遭ったものの、全国的に見るとやはり地震などの災害の心配が少なく、さらに恵まれた自然環境や交通結節点としての利便性も享受できる岡山市。「住み続けたいまち」として市民からも高い評価を得ています。多彩な魅力を誇る岡山市ですが、人口減少や少子高齢化による影響は、やはり避けては通れない課題です。人の集積、交流が減れば、労働力不足による労働時間の長期化、成長力の低下、まちとしての魅力の減退など「負のスパイラル」に陥ることも十分に考えられます。こうした事態を回避するには、中心市街地の活性化を力強く推進しなければなりません。

2019年、岡山市は市政施行130周年、政令指定都市移行10周年を迎えます。この節目の年に、改めて「郷土おかやま」の「らしさ」を再発見、再定義し、県内外あるいは国内外の若い世代に向けたブランディングを加速させる必要があります。価値観の多様化、複雑化が叫ばれる一方で、地方のまちづくりはどこか画一的なものに映ります。まちづくりの核となる駅前開発なども、どのまちも似たような商業施設、娯楽施設が立ち並び、コピー&ペーストのような景色が広がっています。そこに欠けているのは、その地方、そのまちにしかない「らしさ」です。「らしさ」こそ、そのまちに住む理由であり、訪れる理由であり、好きになる理由です。そして、その「らしさ」を磨きあげるために、すでに顕在化している具体的な課題もあります。それは、産学官民、それぞれの動きの把握と連携です。しっかりと勉強をし、パイプをつくり、住む人、訪れる人を魅了し続けるまちづくり事業を、青年らしいわくわくする発想力を持って展開していきましょう。また、岡山青年会議所のスピリットの代名詞でもある「うらじゃ」は今年の25周年という節目を経て、新たなステージに向かわなくてはなりません。先輩方が立ち上げた、という誇りを持って運営・支援をするのはもちろんですが、今後の「うらじゃ」の方向性を見据え、未来のためにサステナブルな事業に進化させていくためには何が必要か、その検討・解答が求められます。

＜交流室＞ 「おもてなしの心」をバージョンアップ

同じ志を持った多くのメンバーとの交流、県内外を問わず共有できるさまざまな情報と、

紡がれていくネットワーク。岡山青年会議所の活動を通して得られるのは、そんな一個人として、あるいは青年経済人としての成長を飛躍的に促進してくれる「気づき」や「出会い」、そして経験です。こうした貴重な場を最大限活かしていくためには、お互いが刺激し合い、シナジー効果を創出できるような仕掛けや場づくりにこだわる必要があります。そのためには、代々受け継がれてきた相手の気持ちを慮る「おもてなしの心」にくわえ、おもてなしする側、される側、双方がわくわくする一歩先を読んだ発想力と行動力が大切です。積極的に楽しむ姿勢、学ぶ姿勢、そうした前のめりの気持ちがなければ、相手の心を動かすことはできません。また、自分の成長にもつながりません。一人ひとりが誰よりも前のめり。そんな気概のもとに、価値ある出会い、未知なる体験を予感させる期待感のある場を創出していきましょう。

また、例会は全メンバーが顔を合わせ、刺激を与え合う場であると同時に、青年経済人としての成長の場でなければなりません。礼儀礼節を学べる岡山青年会議所であるのはもちろんのこと、経済的な面での成長の場であることが重要です。岡山青年会議所に入会したら会社が伸びる、そのような状態を築くことができれば自然に会員拡大にもつながります。個人の成長が会社の成長につながり、会社の成長が地域の成長につながります。地域のことを嘆く前に、まずは自分自身が輝く青年経済人に成長すること。例会はそんな個人の成長の場であり続けなければなりません。

＜組織未来室＞ 「準備力と成果」でバージョンアップ

大きな成果を得るには、準備力が大切です。我々は今、70周年という大きな節目を前にその準備力が試されています。岡山青年会議所では、「うらじゃ」や「キッズビジネスパーク」など、文化として根付くような多くの人々に支持される事業を送り出してきました。これから先の岡山青年会議所を、今まで以上に地域に求められる存在にするためには、これらを超えるヒット事業を生み出す必要があります。青年らしい豊かな発想力で、わくわくする未来の転機となるような70周年記念事業成功の素地をつくるためにも、今一度足元を見直し、我々自身が輝きを放ち、若者に憧れられる、時代の先端を行く青年経済人の集団というブランド価値を取り戻しましょう。そして、70周年だけでなく次代のマイルストーンとなるような事業のタネを芽吹かせ、最高の準備力を発揮していきましょう。岡山青年会議所の先輩方の活動は、かつて毎日のように新聞などのメディアに取り上げられていました。今はどうでしょうか。取り上げられる回数は減少し、その記事のサイズも小さくなってきています。もう一度、岡山青年会議所が地域での存在感を示すためにも、我々の活動を新聞やテレビ、インターネットなどで広く発信していく必要があります。メディアとのパイプ構築やテクニックの勉強は自社の成長にも役立つはずです。

また、拡大についてはLOM最大の事業と据えて、LOM全体で力を入れて行っています。公益団体である以上、財産はひとであり、ひとがいなければ活動も出来ませんし、

価値も高まりません。皆さんは入会以来、拡大を何人しましたか。胸を張って拡大活動を行ったと言えますか。一人ひとりが、自分より若いメンバーの拡大をするだけでL OMの人数は減りません。全国のL OMのメンバーが減少傾向の中で会員数を増やすことこそが、岡山青年会議所の価値を高めることにつながります。所属する我々自身のブランド力を高め、価値ある活動をしていくこと、そしてそれを積極的に発信していくことでしか拡大の成功はありません。70周年以降の輝ける未来のために、拡大は無くってはならない最大の事業なのです。

<総務室> 「攻める総務室」としてバージョンアップ

公益社団法人格である我々は、諸先輩方が培ってきた地域からの信頼という土台の上に成り立っています。そして、我々はこの尊い土台をより強固なものとして次の世代に引き渡していく責務があります。社会の変化から、以前にも増して注目されるようになったコンプライアンスや、効率的な事業・組織運営の模索など、総務室の役割は多岐に渡り、求められるのはジェネラリストとしての資質です。「扇の要」といわれるように、さまざまな活動を支えるだけでなく、組織風土そのものを演出していくべき重要なポジションとして、「郷土おかやま」に対する我々の存在価値をこれまで以上に高めながら、さらに盤石な土台構築を目指していきます。また同時に、公益社団法人としてのあるべき姿を忠実に守りながらも、組織のさらなる活性化を促進する「攻め」の総務室のあり方も追求していきます。そして本年度は日本青年会議所で使用している「アジェンダシステム」を採用し、執行部会議・理事会を、日本青年会議所と同じ基準で運営し会議の質を高めます。またそれにより、いつでも人財が出向することができるような会議の運営をおこなっていきます。

<むすびに>

経済人としての最高のネットワーク、自社の活動だけでは得られない貴重な経験、業務を通して広がる経済人としての視野。岡山青年会議所で得られるのは、そんな自らの可能性を飛躍的に広げる成長機会です。限界を突破した新たな自分と出会いたいなら、何かが起こりそうなわくわく感をいっしょに感じたいなら、岡山青年会議所の扉を叩くべきです。青年は青い、青いから青年です。たとえ周りに青いと言われようが、青年にしかできないことを考え、実行する団体、それが岡山青年会議所の役割だと考えます。まちづくりという大きなフィールドと、本気で語り合える仲間たちとともに、次の「おかやま」の担い手として、次の世代の見本として、青年らしい常識に捉われない、わくわくするような新しい価値、事業の創造に挑戦していきましょう。

ひとつくり室

副理事長方針

副理事長 平田 知之

本年度、古市理事長の御指名により、副理事長ならびに会員研修委員会委員長という大役を仰せつかり、その使命と責務の大きさを強く感じております。

2019年度の岡山青年会議所は、JCブランドの向上と積極的な会員拡大活動の成果もあり、100名を超える会員で活動を開始します。この青年会議所活動においては、「数は力」という要素は大きく、スケールの大きな活動や表現が可能となります。しかし、その会員構成は、JC歴が3年未満の会員が半数以上となる、経験の浅い団体になっています。

こうした中、会員研修委員会は、ひとつくりの団体岡山青年会議所ならではの、連綿と受け継がれてきたひとつくりの文化を大切に継承します。さまざまな考え方や価値観をもった者同士が、困難な課題や濃密な時間を共有する中で、お互いに切磋琢磨し、礼儀礼節、利他の精神を習得していくことで、ひとりひとりが自助努力だけでは到達し得ない大きな成長＝バージョンアップを遂げ、郷土の経済発展に貢献できる凜とした青年経済人を育成していきます。

末尾になりましたが、特別会員の皆様、現役会員の皆様におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻を賜ります様、心よりお願い申し上げます。

まちづくり室

副理事長方針

副理事長 高山 晃一

本年度、古市理事長よりまちづくり室副理事長という大役を仰せつかり、光栄に思うと同時にその責務の重さを強く感じております。全力で古市理事長をお支えし、誰もがわくわくするような郷土おかやまの創出に全力を尽くして参ります。

近年、人口減少に起因する様々な問題は避けて通れない課題です。その課題を解消するには、人を集め、交流を増やし、まちの活性化を強く推進しなければなりません。産学官民と手を携え、ブランディングを加速させ、郷土おかやまにしかない「らしさ」に溢れ、誰もを魅了し続ける事業を展開して参ります。

また、四半世紀が経過し、新たなステージに進む第26回「うらじゃ」では、今まで以上に郷土おかやまの発展と、誰もが誇りに思えるまつりとなるよう、未来を見据え、取り組んで参ります。そして、振興活動にも力を入れ、おかやまの代名詞ともいえる事業へと発展させていきます。

最後になりましたが、これまでの歴史や伝統を引き継ぎつつ、青年らしい発想力を取り入れ、おかやまのまちづくりに全力で邁進して参ります。特別会員、現役会員の皆様には、より一層のご指導、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

交流室

副理事長方針

副理事長 岡部 憲一郎

2019年度交流室担当副理事長という大役を仰せつかりその重責を強く感じております。嶋田委員長率います渉外委員会と西山委員長率います例会委員会を關常任理事とともに担当させていただきます。岡山青年会議所の創立以来68年の歴史を活かし、先輩方から脈々と受け継がれてきた「おもてなし」の心を余す事なく引継ぎ、また昇華し、参加するメンバー一人ひとりが前のめりになって、わくわくする期待感のある場の創出を行ってまいります。また、岡山青年会議所に入会し活動を行えば自然と「学び」や「気づき」が得られると言われていますが、例会においては明確に「学び」を持ち帰ってもらいます。参加義務のある例会だからこそ、定期的に会う現況報告会ではなくメンバーの青年経済人としての資質向上に寄与し、参加したくなる成長の場を形成して参ります。最後になりますが、私も最終年度を迎え、今までに学んで来た事を振り絞り、また關常任理事と担当2委員会委員長をはじめとするメンバー一同と未来について語り合い、70周年に向けて引き継げるよう精一杯活動して参ります。特別会員の皆様をはじめ、会員諸兄の皆様方のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

組織未来室

副理事長方針

副理事長 小林 佑輔

本年度、古市理事長より組織未来室副理事長という新しい役を仰せつかり、責務と役割の重さを強く感じております。70周年を翌年に迎える岡山青年会議所の歴史を振り返り、未来に引き継いでいく大切な一年間を責任をもって全うして参ります。副理事長として古市理事長の描く未来を形にし、綿密な準備を行い、未来に大きな成果を残せるような礎を築いて参ります。

組織未来室といたしましては、石井常任理事と岡山JCブランディング委員会綾部委員長と、会員拡大委員会安部委員長とともに、組織の未来を担う室として、未来のマイルストーンを創り上げます。若者らしく斬新な手法と積極的な発信力で、岡山青年会議所のブランドを高めて参ります。また、自分自身の成長により団体の価値を高め、より多くの市民に存在を知っていただくことで、未来を共に創っていく新しい仲間を増やしていきます。岡山青年会議所に所属していることに誇りを感じ、ひとの魅力が自然と伝播する輝かしい組織に昇華していくために、メンバー一人一人が未来を見据え行動していきましょう。

最後になりましたが、特別会員、現役メンバーの皆様には、より一層のご指導とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

総務室

専務理事方針

専務理事予定者 岸 紘史

本年度、古市理事長より専務理事という大役を仰せつかり、光栄に思うと同時にその果たすべき役割と責務の大きさと重さを強く感じております。専務理事として古市理事長をしっかりとお支えし、総務室 柴田常任理事と総務委員会 井戸委員長と共に岡山青年会議所69年の歴史と伝統を受け継ぎ、責任ある活動に全力で取り組んでまいります。

本年度の総務室は、諸先輩方の築いてこられた盤石な基礎基本を守っていくことはもちろんのこと、既存のやり方や常識にとらわれず、常に新しい価値創造に挑戦していく攻めの姿勢でバージョンアップしてまいります。

公益社団法人としての社会的信用を守る為にコンプライアンスを遵守し、社会に対する存在価値を高める為の事業展開の一助を担い、組織の活性化を促進する攻めの組織運営を行うことのできる総務室を確立することで、会員の青年経済人としての成長と資質向上に繋げていきたいと考えております。

最後になりましたが、これまでに諸先輩方から教えていただいたことを活かしつつ、リスクを恐れず、攻めの姿勢で邁進してまいります。特別会員、現役会員の皆様には、より一層のご指導とご協力を賜りますよう、心よりよろしくお願い申し上げます。

まちづくり室

常任理事方針

常任理事 杉 大和

古市理事長よりまちづくり室担当常任理事の役割を仰せつかり、その役割と責務の重さを強く感じております。高山副理事長からご指導いただきながら、中村委員長率いるエキサイトおかやま委員会と林委員長率いるまちづくり委員会と共に、青年らしいわくわくする発想力を持って魅力ある「郷土おかやま」を創りだす事業を推進して参ります。

本年度のまちづくり室は、おかやま「らしさ」のバージョンアップを目標に、「郷土おかやま」の「らしさ」を再発見や再定義を行い、行政の動きを把握し連携をとりながら、おかやまにしかない資源をフル活用し「郷土おかやま」の「らしさ」を磨き上げ、青年らしいわくわくする様な発想力をもって事業を展開して参ります。

岡山にとって唯一無二の団体である青年会議所の青年だからこそできる、リスクを恐れない「チャレンジ精神」を持って事業を展開し、地域を牽引し魅力ある「おかやま」を創り新時代に相応しい「郷土おかやま」へ導いていきます。

また、第26回を迎える「うらじゃ」は、すでにおかやまを代表するお祭りとして周知されていますが、新たなステージへ向けて未来を見据えた新たな取り組みを行いさらなる発展をさせていきます。

最後になりますが、特別会員・現役会員の皆様方にはより一層のご指導とご協力を賜ますよう心よりよろしくお願い申し上げます。

交流室

常任理事方針

常任理事 關 和敏

本年度、古市理事長のもと、常任理事を仰せつかりその重責を強く感じております。岡部副理事長にご指導をいただきながら、嶋田委員長をはじめ渉外委員会メンバー、西山委員長をはじめ例会委員会のメンバーと共におもてなしの心をバージョンアップして参ります。

新元号を迎えるにあたり今まで以上に岡山青年会議所らしさである至極のおもてなしの追求し、入会年度の浅いメンバーに対しましては69年間諸先輩から培ってきたおもてなしを伝承していかなければなりません。その為には誰もが会に参加したくなるようなおもてなしの心を邁進して参ります。

また、例会では今までにない経験を持ち帰って頂きます。例会において学び舎の提供、自己成長の機会を設けメンバー同士の成長を高めてまいります。メンバー同士の成長が高まりあう事で今までにない魅力が高まります。誰もが知る岡山青年会議所のブランド力も一層高まるよう邁進して参ります。

最後に多くの先輩諸兄から学ばせていただきました「岡山JCならではのおもてなし」を余すことなく伝承できるよう活動して参る所存です。先輩諸兄をはじめご支援、ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

組織未来室

常任理事方針

常任理事 石井 聖至

本年度、古市理事長より組織未来室常任理事という大役を仰せつかり、その成すべき職責の重さを強く感じております。岡山青年会議所の常任理事として、歴史を振り返ると同時に輝かしい未来を創り上げていくため、小林副理事長のもと岡山J Cブランディング委員会・綾部委員長並びに、会員拡大委員会・安部委員長と協働し、全力でその職責を果たす所存であります。

組織未来室は、組織の未来を担う室として、岡山青年会議所のブランド力の向上と、会員の拡大を中心に活動して参ります。青年らしい豊かな発想力を持って、失敗を恐れず新たなことに挑戦し、70周年に向けた準備を進め、今まで以上に輝く未来を創出いたします。同時に、時代を先駆ける団体としてブランド力を高め、岡山青年会議所の魅力を、斬新な発想を持って戦略的に発信して参ります。今まで以上に岡山青年会議所が地域に求められ、憧れられる存在になる事で、メンバー一人一人が活動に強い誇りを持ち、そのことが会員の拡大につながると私は確信しております。

最後になりましたが、特別会員、現役メンバーの皆様には、より一層のご指導ご鞭撻、またご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

総務室

常任理事方針

常任理事 柴田 収

本年度、古市理事長より総務室常任理事という大役を仰せつかり、その成すべき職責の重さを感じております。岡山青年会議所の総務室常任理事として、岸専務理事のもと総務委員会・井戸委員長と共に、岡山青年会議所が培ってきた69年間の信頼という土台に、新たな一段を積み上げるべく、全力でその責務を果たす所存であります。

本年度の総務室は、古市理事長の掲げる「リスクを恐れず青年らしく、わくわくする発想力と挑戦心」という方針に基づき、攻めの姿勢でバージョンアップしていきます。公益法人格を有する団体であるとしてコンプライアンスを遵守した組織運営を行うことは当然のことですが、前例踏襲に留まることなく原理原則の本質を見極めて、効率的な事業や組織運営の新しいあり方を模索いたします。これにより、一人ひとりのメンバーが、リスクを超えた先にあるわくわくするような事業を展開していくことの一助といたします。

また、日本青年会議所にメンバーが出向しやすく、出向経験をLOMによりフィードバックできる組織運営を行います。

最後に特別会員・現役会員の皆様方には一層のご指導ご鞭撻、またご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ひとつづくり室

会員研修委員会事業計画

ひとつづくり室会員研修委員会 委員長 平田 知之

本年度、岡山青年会議所の根幹となる会員研修委員会委員長を仰せつかり、大切な新会員をお預かりすることを大変光栄に思いながらも、その重責を感じております。

単に研修プログラムをこなすのでは無く、団結して困難を乗り越える気概を持ち、見識を高め、他を敬い、感謝の念を持ち、自己成長に挑み続けるひとつづくりを実践して参ります。

本年度のひとつづくり室では、まず青年経済人としてのマナーや礼儀、考え方を身につけるべく、新会員勉強会を開催します。岡山の経済界、地域社会を牽引する岡山青年会議所のOBである講師をお招きしてご講演をいただくことで、岡山青年会議所での活動体験やリーダー&フォロワーシップ、おもてなしの精神を学ぶ機会を創ります。最初のプログラムとして、3分間スピーチを開催し自己開示を行い徹底的に自分と向き合うことで、自己実現の為のビジョンを明確にします。そして団結して困難に立ち向かい、その過程の中でお互いに切磋琢磨することで、通常では得ることの出来ない絆と感動体験を創出します。研修最後のプログラムとして、LOMサービス事業の企画・運営を通じ、岡山青年会議所の事業運営の基礎を学び、おもてなしや利他の精神を体感し、困難の先にある大きな成長と仲間との絆を築いていただきます。又、研修プログラムだけでは無く、日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOMが行う事業にも積極的に参加し、新会員へその意義を伝え、多くの価値観に触れ、各地メンバーとの出会いの場を活かして参ります。「うらじゃ」を代表する全ての事業へ積極的に参加し、岡山JCが担っているまちづくりの役割を体感してもらいます。

これら研修プログラムの目的を明確にし、濃密で貴重な時間にすることで、JCメンバーとしての基礎を培うことはもちろん、その後の人生においてもこの研修期間が大きなプラスの影響を与え、まちやひとに良い影響を与えることの出来るひとつづくりを実践して参ります。特別会員、現役会員の皆様には何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

まちづくり室

エキサイトおかやま委員会事業計画

エキサイトおかやま委員会 理事委員長 中村 彰宏

新たな元号となる2019年は新時代に向けた変革が必要な年です。恵まれた自然環境や交通結節点としての利便性を享受できるおかやまは、未曾有の災害や人口減少、少子高齢化といった様々な危機を抱えています。その一方で駅前の再開発や市民会館の移転など、新しいまちに生まれ変わる鼓動が聞こえている今こそ、青年だからこそチャレンジ精神をもってわくわく感のある事業を展開し、新たな価値創造をしていく必要があります。

本年度のエキサイトおかやま委員会では、「郷土おかやま」の「らしさ」を再発見、再定義でき、若い世代に向けたブランディングを加速させられる事業を実施いたします。行政や各種他団体とも連携しながら、実施規模や前例踏襲にとらわれることのない、青年らしいわくわくする発想力で事業を展開します。未来を担う子どもが生まれ育ったまちに夢と誇りを持つことができる青少年育成事業を実施することで、地域に愛着をもつことができ、自己実現に繋がるきっかけを提供します。また市や他団体の活動にも目を向けて「おかやまらしいまちづくり」の定義を見直すことで、中心市街地の活性化に資することができる事業を実施いたします。それにより参加者にわくわく感を与え、おかやまをもっと好きになる機会を創出します。

メンバーに対しては活動を通してのスキルアップはもとより、まちにひとが集まる事業について考えられる人材への成長を促します。また日本青年会議所や中国地区協議会、岡山ブロック協議会の事業にも積極的に参加することで、様々な出会いから学びを得ていただきます。現役会員のみならず、市民や特別会員と関わることで、先見的な広い視野でまちづくりができるよう導きます。

新時代に向かってバージョンアップされた岡山青年会議所を創るため、「郷土おかやま」を新時代に相応しいまちへ導く事業を展開します。そして、それが次世代に向けたブランディング、ひいては会員拡大にも連動していくことを常に意識して、郷土おかやまに新たな価値創造ができる人材の育成にも努めていきます。

まちづくり室

まちづくり委員会事業計画

まちづくり委員会 理事委員長 林 俊宏

我々が拠点としているおかやまは、近年の異常気象の影響を受けているものの、全国的に見ても一年間を通して穏やかな気候が多く、多様で豊かな自然環境に恵まれており、また交通の便においても関西と中四国の交通の要衝として重要な位置にあります。住み暮らし、事業の拠点とするにも魅力的な立地のおかやまですが、外部へのPRが足りておらず県外からの魅力度は高くないのが現状です。

まちづくり委員会の担いは、一人でも多くの市民が、郷土おかやまの「らしさ」を再発見するきっかけ作りを行うことです。住まう人々が、おかやまの発展のために変化に向けて行動する「郷土おかやまを思う人」となるよう導いてまいります。

おかやまの夏の風物詩うらじゃは多くの市民を巻き込み、行政、マスコミ、企業が手を取り合い一丸となって開催される、おかやまを代表する観光資源です。

うらじゃは25回目の節目を迎え盛大に開催されました。「共生と融和」をテーマに築かれてきたうらじゃを26回目も多くの人々を巻き込み地域に愛されるまつりとなるよう運営してまいります。また、誇りを持って日本全国にそして海外に発信し、おかやまの魅力を感じてもらえるよう活動してまいります。振興会においては、未来を見据え、子供たちや子育て世代にうらじゃを通しておかやまの魅力を伝えるために、教育現場や企業を巻き込み、おかやま「らしさ」を発信してまいります。

我々は、おかやまを代表するまつりの今後を見据え、新たなステージに向け、時代の変化に対応したうらじゃとなるようまつり運営を行います。行政や市民そして次世代のリーダーと共に足並み揃えて活動することで、誰もがおかやま人であることを誇りに思えるよう、郷土のため、わくわくした「おかやまらしさあるまちづくり」を行ってまいります。

結びに、この一年間、まちづくり委員会において切磋琢磨する中で、郷土おかやまを代表するまつりの運営に深く関わることを誇りに思い、外部の多くの人々との関わりがメンバーの人生の糧となり、学びある委員会活動をしてまいります。

交流室

渉外委員会事業計画

渉外委員会 委員長予定者 嶋田昌浩

社会情勢が目まぐるしく変わる現代社会において、昨今、日本古来より大切にされてきた「おもてなし」の精神が薄れ、日本人の道德観や価値観は大きく変化しています。そんな時代だからこそ、岡山青年会議所は地域の道しるべとして存在し続け、人と人のつながりを再認識し、明るい豊かな社会の実現が求められます。青年会議所活動における「友情」を育む機会を創出する私たち渉外委員会は、日本の「おもてなし」のこころを大切にし、過去の事業をひもとき経緯を調べ、取捨選択を行い「真の友情を育む機会」の創出を行います。そして、委員会内外の絆を深めるとともに、団結力を高めL OM全体の活性化を図ります。

各事業への積極参加を促す手法として、前もってのスケジュールの管理と告知を徹底します。さらに各事業の目的を明確にし、参加の意義を説明しメンバーに納得して参加していただきます。そして、縦横のつながりを活かして、一人でも多く参加者が増えるように努力いたします。出向者を支援する事業においては、出向者の立場になって考え、出向者が誇りを持って出向できるような設営をし、L OMメンバー全員で出向者を支援する流れをつくり、出向者にL OMを代表して出向するという事を自覚していただけるような「機会」を創出します。また出向先での活動内容や、成果を発表する場を設け、出向していないメンバーにも学びがあり、将来、積極的に出向したいと思えるような設営をいたします。

「友好L OM交歓会」においては、L OMの交流だけではなく、交歓会を通して、地域と地域の交流の懸け橋になるような設営をします。各事業の移動中や休憩中でも「おもてなし」のこころを忘れず、隙がなく、こころ温まる設営、そしてメンバーの思い出に深く刻まれるような、感動体験や楽しさ、同時に大きな学びの場を創出します。

これらの事業や取り組みを通して、日本古来よりの「おもてなし」のこころを再認識し、地域社会の道しるべとして、岡山青年会議所が、地域社会から本当に必要とされる存在となることを確信いたします。

交流室

例会委員会事業計画

例会委員会 委員長 西山 武志

昭和から平成に、そして新元号を迎える２０１９年度。わたしたちを取り巻く環境は時代の移り変わりとともに大きく変化してきました。これからますます変革目覚ましい世の中になることを想像すると、わたしたちも時代に相応しい新たな価値創造をしていかなければなりません。岡山青年会議所に入会すれば、さまざまな角度から学び、気づき、わくわくできる。そんな周囲にも影響を与えることができる魅力的な人づくり、組織づくりをわたしたちは目指します。

わたしたちが青年会議所運動をおこなうためには、まず経済基盤がしっかりとしていなければ十分な活動を行うことができません。礼儀、礼節を学ぶ岡山青年会議所であるのはもちろんのこと、所属するメンバー自身が成長し、そして企業の成長へとつながるよう、仕組みにとことんこだわります。多種多彩な業種の青年経済人が一同に集まる例会は、多くの学びを得ることができ、絶好の自己成長のチャンスの場です。例会にテーマを決め、そのテーマに沿ってビジネスシーン、プライベートシーンで役立つ事柄について外部講師やＪＣに所属するその道の専門家の講演など、誰もが例会が待ち遠しい！積極的に参加したくなる「わくわく」するような例会の企画運営を行います。自己成長することで企業が繁栄する、企業が繁栄するからこそ、わたしたちは社会貢献をおこなうことができるのではないのでしょうか。岡山青年会議所は、ひとにこだわり、そして、まちづくりを担う団体として、その活動は現在も連綿と受け継がれています。守るべき伝統や文化は継承しつつ、これから新時代を迎えるにあたり、既存のやり方にとらわれることなく大胆かつ積極的に新しい取り組みに挑戦し続けていきます。

岡山青年会議所に入会したら会社の業績が伸びた、家族や友人を幸せにできた、地域への貢献ができた、そして「入会してよかった」そんな充実した思いをもって活動するメンバーがこれから先、一人でも多く増えることによって自然と会員拡大にもつながり、組織がバージョンアップされていくと考えます。

組織未来室

岡山 J C ブランディング委員会事業計画

岡山 J C ブランディング委員会 理事委員長 綾部 健二郎

人々が扱わなければならない情報量の飛躍的な増加や価値観の多様化を背景に、本当に評価される価値のあるものとそうでないものの二極化が進んでいることは周知の事実であります。こうした時代であるからこそ、我々岡山青年会議所が取り組む、若者にしかできないチャレンジ精神溢れる事業を当委員会は積極的かつ効率的に発信することで、まちや市民に対するブランド価値を圧倒的なものへと高めていきます。

そのために、岡山青年会議所の公式HPを時代に即したものとしてリニューアルし、市民に幅広く受け入れられる広報ができる体制を整えます。平素からの発信としては理事長あるいはLOMの運動、活動には必ず随行し、広報誌、新聞やテレビなどのマスメディアを活用した積極的な広報や、SNSを活用したタイムリーな広報を年間通じて実施いたします。そして新たに、場所を選ばず短時間で多くの情報が得られる動画を活用した定期的な広報を実施することで、岡山青年会議所に対する認知度や共感を今以上に高めていきます。さらにLOM内の各委員会と密に連携し、特に対外事業における事前広報にも積極的に関わり、LOMにおける広報のスタンダードを築いていくことに取り組みます。そして岡山JCのブランディングにつながり、今後郷土おかやまに文化として根付く新たな事業を創造、実施いたします。担当事業の新年賀詞交換会では特別会員と現役会員との絆を深めることはもとより、他LOMや行政に対して岡山青年会議所の存在感を示すことのできる会を設営いたします。70周年記念事業の準備に関しては、記念誌制作のための資料収集や記念式典の計画立案を行い、当該年度に向けたスムーズな準備を行います。

長期的な視野に立ち岡山青年会議所のブランディングを行うことで我々の運動および活動が広く市民に認知され、我々は郷土おかやまの未来を創造するために必要な団体としてのブランド価値を今以上に高めることができます。結果、岡山青年会議所はまちや市民に求められる存在であり続けることができると確信いたします。

組織未来室

会員拡大委員会事業計画

会員拡大委員会 理事委員長 安部 真良

創立70周年という大きな節目が迫る今こそ、諸先輩方から脈々と引き継いだ「ひとつくろ」の文化を継承し、ひとの成長によってまちが活性化するという岡山青年会議所の最大の魅力を多くの方に認知される必要があります。そのためにも、同じ志のメンバーを一人でも多く迎え入れ一人ひとりが輝く人財となり、岡山青年会議所の魅力を発信していかなければなりません。

会員拡大については前期19名、後期19名の拡大を目標に取り組んで参ります。当委員会単独で拡大活動を行うだけではなく、LOM全体を巻き込み拡大活動していくことを本年度の最大のテーマといたします。毎月の委員長連絡会議の開催、他委員会への訪問を確実に実行し、LOM全体の拡大意識向上に努めます。また、現役会員一人ひとりはもちろん、700名を超える多くの特別会員の皆様とも密なコミュニケーションをとることで拡大情報を共有し、精度の高い拡大リストの作成を進めます。そして、事業としては二事業を行います。第一に、会全体で拡大活動を行っていくというベクトルを更に強固なものにするために会員拡大推進講演会を開催いたします。講師をお招きし、会員拡大活動に対しての手法や意義等を学び、LOM内の意識の向上を目指します。第二に、拡大対象者と現役会員の接点する機会を増やすことを最大の目的にビジネスセミナーを開催いたします。著名人を講師として多くの拡大対象者を集めます。また、事業だけではなく、多くの拡大対象者に岡山青年会議所の魅力を伝えるためにも、同じ組織未来室に所属する岡山JCブランディング委員会と連携をとり、岡山青年会議所のブランド力、イメージ力を向上させる運動を実施し、会員拡大につなげて参ります。

これらの事業を通じて、メンバー一人ひとりの会員拡大意識を向上させ、LOM全体で会員拡大活動を行っていく基盤を作ります。岡山青年会議所が未来永劫、輝く人財で溢れ、まちを活性化することができる唯一無二の存在であり続けるために委員会メンバーと共に全力で会員拡大活動に邁進して参ります。

総務室

総務委員会事業計画

総務委員会理事委員長 井戸 啓太

岡山青年会議所の現状において、長きにわたり活動の中核を担ってこられた方々がご卒業され新たな歴史を刻むべきメンバーは入会4年未満が大多数をしめております。その中で、適正でわくわくする事業をより適切に展開していくために、組織全体の要となるべく総務委員会の存在意義を見直す必要があります。事業を行うには、事業計画を執行部会議及び理事会にて協議及び審議を得ることが必要不可欠であり、事前に総務委員会の上程にて各委員会の事業計画をより適正に運営できるか精査する必要性が高まっております。社会的信用が高い団体だとまちや市民の皆さまに愛していただけようコンプライアンスも徹底し、伝統ある岡山青年会議所の価値を高めてまいります。

そのために、アジェンダシステムの導入、総務上程ルールの整備、事業計画書の作成方法に関するルールの明文化を不易と流行を意識し推進してまいります。また、委員長予定者、副委員長及び幹事予定者セミナーを開催し、次年度に向けてスタッフの役割を認識していただき全員が共通の想いをもち組織運営を行っていける基礎を築きます。そして、シニアクラブ総会及び世話人会は特別会員の皆さまとこれまでの歴史と伝統を学ぶ貴重な機会であり今後の活動に役立てられるよう設営を行います。毎年、青年会議所の設立記念日に開催されます歴代理事長会議では礼儀礼節おもてなしの精神を持って誠心誠意設営させていただきます。LOMメンバーに対しての情報発信、スケジュール管理、手帳の作成などの業務、現役会員及び特別会員からお預かりする会費などの会計業務は効率的かつ透明度の高い運営管理に努めてまいります。本年度、「適正かつ明確であり攻める総務委員会」を念頭に活動していきます。

我々は、各委員会の事業計画書を執行部会議及び理事会にて協議、そして、最終審議をいただけるよう的確に指摘しわくわくできる事業を適正な計画書にして行部会議及び理事会に上程いたします。事業を通じて岡山のまちや市民に必要とされる組織の要になれるよう邁進してまいります。

監事抱負

磯島 慈海

歴史と伝統溢れる岡山青年会議所の監事という重責を与えていただき、身の引き締まる思いと共に新たな立場をいただいた感謝と挑戦する気概を胸に組織の一助となるべく、誠心誠意努めさせていただく所存です。

組織に於いては法と定款を基本として適正かつ公正な監査を遂行し、事業・運営に於いては理事長が掲げる基本方針・基本理念・所信からぶれていないかどうかを俯瞰的立場から沈吟し、足なみをそろえるための役割を全うして参ります。

3年未満のメンバーが大半を占め、入れ替わりの激しかったここ数年は譲位による時代の転換期以上に岡山青年会議所の転換期と言え、理事長が目指しておられるバージョンアップへ向けたまさに最適なタイミングであり、次世代のメンバーが飛躍できるような新時代の幕開けにふさわしい一年を実現できるよう、持てる力を総動員して邁進して参ります。

薄れいく不易と伝統をメンバーへ継承しつつも、理事長が目指しておられる岡山青年会議所バージョンアップに向けた活動はもちろんのこと、郷土おかやまの明るい豊かな社会の実現と、青年会議所の必要がない社会の実現に向けて、5年、10年と未来に目を向けた活動の一年となるよう、真摯な心で監査に取り組んで参ります。

関係各位の皆様方におかれましては、是非ともご指導ご鞭撻をたまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

監事抱負

末長 一範

2019年度、公益社団法人岡山青年会議所の監事の大役を拝命いたしました。監事として、より一層の努力と、不惜身命の心で臨む所存でございます。公益性、コンプライアンスを大切することはもちろん、「変化」と「おかやまJCブランディング」という視点を考慮しながら、自分の役割をしっかりと果たしたいと思います。2018年夏、悲しいことに西日本豪雨災害により、岡山県も甚大な被害を受けました。災害の少ない地域と思われていた岡山県民にとっては、経済的なもの以上に精神的なダメージも大きくありました。しかし誤解を恐れずに言うならば、こんな時だからこそ変化の時だとも考えます。今、皆の心は大きく郷土愛でつながっています。私たち青年会議所が結束し、経済活動に対して奮闘し、真の復興を目指すとともに、これまで以上に「愛するおかやま」を盛り上げないといけない、そう強く感じます。そのために、理事長の標榜する考え、方針、事業をしっかりとサポートしながら、監事として以上に、自分なりに岡山のために尽力していきます。最後となりますが、敬愛する先輩諸兄ならびに現役メンバーの皆様におかれましては、一年間ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 委員会職務分掌

【会員研修委員会】

- ・ 前期、後期新規入会者及び新会員の研修
- ・ 青年経済人としての礼儀・マナーの研修
- ・ JCI クリード、JCI MISSION, JCI VISION, JC 宣言・綱領、岡山 JC 三信条及び長期ビジョンの啓蒙
- ・ 講師委員会の開催
- ・ 3 分間スピーチの実施
- ・ 団結して困難に立ち向かい、切磋琢磨しながら、一つのことを為すことにより、友情を礎とするプログラムを実施
- ・ LOM サービス事業を通しての研修
- ・ コミュニティープラザの開催
- ・ 他委員会の委員会訪問の実施
- ・ おかやま桃太郎まつりへの支援・協力
- ・ 会員拡大活動の推進と数値目標の達成
- ・ 会員拡大活動の積極的な推進と数値目標の達成
- ・ LOM 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOM 開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第 90 回岡山ブロックじゃがいも大会への支援・協力
- ・ 第 26 回「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 委員会職務分掌

【エキサイトおかやま委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名、前期新会員2名の獲得」
- ・郷土おかやまに夢と誇りを持って、自己実現につながる青少年育成事業の企画・実施
- ・行政や各種他団体と連携した、おかやまの中心市街地活性化に資する事業の企画・実施
- ・緊急災害時における対応
- ・おかやま桃太郎まつりへの支援・協力
- ・会員拡大活動の積極的な推進と数値目標の達成
- ・L O M開催事業への積極的参加と協力
- ・日本J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、L O M開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・第90回岡山ブロックじゃがいも大会への支援・協力
- ・第26回「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 委員会職務分掌

【まちづくり委員会】

- ・ 会員拡大「前期新会員2名・後期新会員2名の獲得」
- ・ うらじゃ開催支援広告募集事業の企画・実施
- ・ うらじゃ振興活動の企画・実施
- ・ 第26回「うらじゃ」実行委員会への参画
- ・ うらじゃ振興会への参画・県外へのPR活動
- ・ うらじゃ実行委員会 総務部会 業務マニュアルの更新
- ・ 報道機関への対応および行政・報道機関意見交換会の検討・実施
- ・ おかやま桃太郎まつりへの協力・支援
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOM開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第90回岡山ブロックじゃがいも大会への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 委員会職務分掌

【渉外委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員2名、前期新会員2名の獲得」
- ・ LOMナイトの企画・設営・実施
- ・ 出向者支援ナイトの企画・設営・実施
- ・ スポンサーLOM・友好LOMとの連絡調整及び交歓会等の企画・設営・実施
- ・ 昭和54年生まれ卒業追い出し旅行の企画・設営・実施
- ・ A S P A C、世界会議への積極的参加を促す手法の検討・構築及び参加の取り纏め
- ・ 会員拡大活動の積極的な推進と数値目標の達成
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOM開催事業への積極的参加と出向者への 支援協力
- ・ 第90回岡山ブロックじゃがいも大会への支援・協力
- ・ 第26回「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 委員会職務分掌

【例会委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・ 例会の運営・実施
- ・ 学びあふれ「わくわく」する例会開催の企画検討及び実施
- ・ 岡山ブロック協議会会長公式訪問例会の企画・設営・実施
- ・ 企画例会の設営・実施
- ・ 特別会員・現役会員合同例会の企画・設営・実施
- ・ 誰もが興味津々な公開例会の企画・設営・実施
- ・ 昭和54年生まれ追い出し旅行開催の支援・協力
- ・ スマイルの実施
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOM開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第90回岡山ブロックじゃがいも大会への支援・協力
- ・ 第26回「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 委員会職務分掌

【岡山JCブランディング委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名、前期新会員2名の獲得」
- ・特別会員・現役会員合同新年賀詞交換会の実施
- ・対内・対外的な広報の見直しおよび検討・実施
- ・LOMにおける広報のスタンダードの確立
- ・報道機関への対応および行政・報道機関意見交換会の検討・実施
- ・広報誌「暖流」の発行
- ・ホームページの制作・運用
- ・ブランディングに繋がる事業の検討・実施
- ・2020年に迎える70周年に向けた事業等の準備および引継ぎ
- ・会員拡大活動の積極的な推進と数値目標の達成
- ・LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOM開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・第90回岡山ブロックじゃがいも大会への支援・協力
- ・第26回「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 委員会職務分掌

【会員拡大委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員5名、前期新会員5名の獲得」
- ・ 他委員会の拡大活動目標達成のための支援
- ・ 会員拡大に向けて岡山市内の各企業・事業所への訪問
- ・ 委員長連絡会議、拡大会議の設営・開催
- ・ 入会予定者へのオリエンテーションの開催と面接の準備・設営
- ・ 拡大推進講演会の企画・設営・実施
- ・ ビジネスセミナーの企画・設営・実施
- ・ 会員ひとりひとりが輝く存在になるための啓蒙活動
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOM開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第90回岡山ブロックじゃがいも大会への支援・協力
- ・ 第26回「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 委員会職務分掌

【総務委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・ 適正な公益法人会計の実施
- ・ 会計経理事務並び及び慶弔関係事務の実施、庶務規則に沿った事務局運営
- ・ 総会、執行部会議、理事会の設営・運営と議事録並びに会議録の作成・管理
- ・ 各委員会事業計画、収支予算並びに事業報告、収支決算の内容精査と各会議への
上程資料精査
- ・ 議案上程方法の見直しとデジタル会議運営の推進
- ・ 事業計画書、事業報告書のフォーマットの見直しと精度向上
- ・ 収支予算書、収支決算書の作成並びに修正予算、中間決算の実施
- ・ 2019年度基本資料、事業報告書、会員手帳の作成及び追加
- ・ LOM年間スケジュールの作成・確認
- ・ 理事長公職の整理・調整
- ・ 定款並びに諸規程及び諸規則の見直し・検討
- ・ 個人情報の管理及び管理データの見直し並びにコンプライアンス遵守の確認
- ・ 理事合宿、理事委員長予定者セミナー、副委員長・幹事予定者セミナーの企画・設営・開催
- ・ シニアクラブ総会、世話人会、歴代理事長会議の設営・開催
- ・ 日本J C、日中友好の会への入会促進
- ・ J C C Sへの登録促進
- ・ J C ルーム・倉庫内の備品管理と発注
- ・ 情報公開の精査と実施
- ・ 事業報告書のデータ保存・管理
- ・ 会員拡大活動の積極的な推進と数値目標の達成
- ・ LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、LOM開催事業への積極的参加と出向者への
支援協力
- ・ 第90回岡山ブロックじゃがいも大会への支援・協力
- ・ 第26回「うらじゃ」への支援・協力

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 年間公式スケジュール (案)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山青年会議所	例会	10日(木) 例会① バッジ授与式	7日(木) 例会② 3分間スピーチ	6日(水) 第一例会③ 総会① スマイル コミュニティ 20日(水) 第二例会④ ブロック会長公式訪問例会	10日(水) 例会⑤ 企画例会	8日(水) 例会⑥	12日(水) 例会⑦ コミュニティ スマイル 13日(木) 6月ビジネスセミナー	3日(水) 第一例会⑧ 総会② バッジ授与式 17日(水) 第二例会⑨ 総会③ チャレンジスピーチ	7日(水) 例会⑩ 総会④ 3分間スピーチ 理事選挙	4日(水) 例会⑪ スマイル コミュニティ 19日(木) 例会⑫ OB合同例会	9日(水) 例会⑬ 公開例会	13日(水) 例会⑭ スマイル 出向者報告	4日(水) 第一例会⑮ さよなら例会 18日(水) 第二例会⑯ 総会⑤
	執行部会議	8日(火) 第1回 執行部・理事合同会議	4日(月) 第2回	6日(水) 第3回	10日(水) 第4回	7日(火) 第5回 27日(月) 第6回	24日(月) 第7回	17日(水) 第8回 執行部・理事合同会議 29日(月) 第9回	26日(月) 第10回	17日(火) 第11回	9日(水) 第12回	13日(水) 第13回	2日(月) 第14回 執行部・理事合同会議
	理事会	1日(火) 新年理事会 8日(火) 第1回 執行部・理事合同会議	18日(月) 第2回	18日(月) 第3回	22日(月) 第4回	13日(月) 第5回	3日(月) 第6回	3日(水) 第7回 17日(水) 第8回 執行部・理事合同会議	5日(月) 第9回	4日(水) 第10回 24日(火) 第11回	21日(月) 第12回	18日(月) 第13回	2日(月) 第14回 執行部・理事合同会議
	総務委員会	2018年12月27日(木) 第1回 28日(月) 第2回	25日(月) 第3回		1日(月) 第4回 30日(火) 第5回	20日(月) 第6回	10日(月) 第7回	10日(水) 第8回 22日(月) 第9回	19日(月) 第10回	9日(火) 第11回 30日(月) 第12回	28日(月) 第13回	25日(月) 第14回	
	行事	8日(火) 新年挨拶回り 10日(木) 岡山JC新年賀詞交換会 17日(木)～20日(日) 京都会議	6日(水) 歴代理事長会議	16日(土)予定 新会員研修会(岡山)	28日(日) ブロック懇親野球大会(西大寺)	23日(木) ブロックじゃがいも大会(岡山) 日() 大阪JC交歓会(大阪) 21日(火) 会頭公式訪問	17日(月)～20日(木) ASPAC 韓国(チェジュ) 8日(土) 親睦事業 30日(日)予定 岡山ブロック大会(高梁)	20日(土)～21日(日) サマーコンファレンス(横浜)	3日(土)～4日(日) 第26回うらじゃ 18日(日)東広島 地区コンファレンス 日()～日() 全国10LOMテニス大会()	日() 高松JC交歓会(岡山) 7日(土)8日(日)(府中) 中国地区野球大会	10日(木)～13日(日) 全国大会(富山) 日() 津山JC交歓会(津山) 日() 広島JC交歓会(広島) 日() ブロック懇親サッカー大会()	日() 54年生追い出し旅行 日() 本次年度引き継ぎ式(岡山) 4日(月)～8日(金) JC I世界会議 エストニア共和国(タリン)	日() 倉敷JC交歓会(倉敷) 18日(水) クリスマス家族会(親睦事業)
岡山ブロック協議会	役員会議	12日(土)岡山 26日(土)児島	13日(水)玉島 26日(火)西大寺	13日(水)備前 29日(金)倉敷	12日(月)岡山 27日(土)笠岡	14日(火)津山 28日(火)新見	13日(木)美作 29日(土)高梁			10日(火)児島 28日(土)真庭	7日(月)岡山 29日(火)岡山	12日(火)岡山 30日(土)岡山	
	会員会議所会議	26日(土)児島	26日(火)西大寺	29日(金)倉敷	27日(土)笠岡	28日(火)新見	30日(日)高梁			28日(土)真庭	29日(火)岡山	30日(土)岡山	
	公式訪問		8日(金) 総社・高梁(高梁)	19日(火) 倉敷・児島・玉島(玉島) 14日(木) 笠岡・井原(笠岡) 20日(水)岡山 岡山	18日(木) 西大寺・備前・玉野(玉野) 日() 津山・真庭・新見・美作(新見)								
	事業			16日(土)(予定) 新会員研修会(岡山)			30日(日)(予定) 岡山ブロック大会(高梁)					30日(土) 本次年度引継ぎ式(岡山)	
	周年行事												
	その他	9日(水) 新年挨拶回り(岡山) 10日(木) 岡山JC新年賀詞交換会 15日(火) 倉敷JC新年互例会			28日(日)(予定) ブロック懇親野球大会(西大寺)	23日(木)(予定) ブロックじゃがいも大会(岡山) 21日(火) 会頭公式訪問							
中国地区協議会	正副会長会議	10日(木)	5日(火)	12日(火)	9日(火)	7日(火)	5日(水)	3日(水)	6日(火)		8日(火)	18日(月)	
	財政審査会議	11日(金)	12日(火)	19日(火)	16日(火)	14日(火)	12日(水)	10日(水)	13日(火)		15日(火)	25日(月)	
	役員会議	17日(木) (京都)	15日(金) (児島)	26日(火) (広島)	23日(火) (岩国)	21日(火) (島根大田)	26日(水) (倉吉)	19日(金) (未定)	17日(土) (東広島)		22日(火) (福山)	29日(金) (未定)	
	会員会議所会議	18日(金) (京都)						20日(土) (未定)				29日(金) (未定)	
	事業								18日(日)東広島 地区コンファレンス		7日(土)8日(日)(府中) 地区野球大会		
	周年行事					25日(土)・26日(日) 江津JC45周年(江津)							
	ブロック事業						30日(日)(高梁) 岡山ブロック大会(予定)			1日(日)(島根大田) 島根ブロック大会 14日(土)(庄原) 広島ブロック大会	27日(日)米子 鳥取ブロック大会		
	その他	18日(金)京都 地区ナイト	7日(水) 北方領土の日 22日(金) 竹島の日					19日(金)(予定) 地区ナイト	17日(土) 地区ナイト				
日本青年会議所	正副会頭会議	10日(木) 31日(木)	14日(木) 28日(木)	6日(水)	4日(木) 18日(木)	2日(木) 23日(木) 30日(木)	13日(木) 30日(日)	17日(水)		5日(木) 19日(木)	3日(木) 24日(木) 31日(木)	21日(木)	5日(木) 12日(木)
	常任理事会	11日(金)	15日(金)	7日(木)	19日(金)	24日(金)	14日(金)	18日(木)		20日(金)	25日(金)	22日(金)	13日(金)
	理事会	18日(金)京都	16日(土)	8日(金)	20日(土)	25日(土)	15日(土)	19日(金)		21日(土)	11日(金)富山 26日(土)	23日(土)	14日(土)
	ブロック会長会議	18日(金)京都	16日(土)	8日(金)	20日(土)	25日(土)	15日(土)	19日(金)		21日(土)	11日(金)富山 26日(土)	23日(土)	14日(土)
	総会	19日(土)京都		23日(土)東京							11日(金)富山		
	JCI諸会議	7日(月)～11日(金) JCI常任理事会／理事会 (JCI JEM/JBM) アメリカ(セントルイス)				1日(水)～4日(土) アフリカ・中東地域会議 モーリシャス(フリッツ・アン・アラック) 8日(水)～11日(土) ヨーロッパ地域会議 フランス(リオン) 15日(水)～18日(土) アメリカ地域会議 アメリカ(セントルイス)	17日(月)～20日(木) アジア・太平洋地域会議 韓国(チェジュ)	25日(金)～27日(日) JCI中間常任理事会 (JCI MYE) アメリカ(セントルイス) 日()～日() グローバルパートナーズサミット (GPS)				4日(月)～8日(金) JCI世界会議 エストニア(タリン)	
	NOM主要事業	17日(木)～20日(日) 京都会議(京都)	22日(金)～24日(日) 金沢会議(金沢)					日()～日() 国際アカデミー() 20日(土)～21日(日) サマーコンファレンス(横浜)			10日(木)～13日(日) 全国大会(富山)		
	財政審査会議	5日(土) 6日(日)	9日(土) 10日(日)	2日(土) 3日(日)	6日(土) 7日(日)	11日(土) 12日(日)	8日(土) 9日(日)	6日(土) 7日(日)		7日(土) 8日(日)	5日(土) 6日(日)	16日(土) 17日(日)	7日(土) 8日(日)
	公益審査会議	5日(土)	9日(土)	2日(土)	6日(土)	11日(土)	8日(土)	6日(土)		7日(土)	5日(土)	16日(土)	7日(土)
	コンプライアンス審査会議	5日(土)	9日(土)	2日(土)	6日(土)	11日(土)	8日(土)	6日(土)		7日(土)	5日(土)	16日(土)	7日(土)

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 組織図

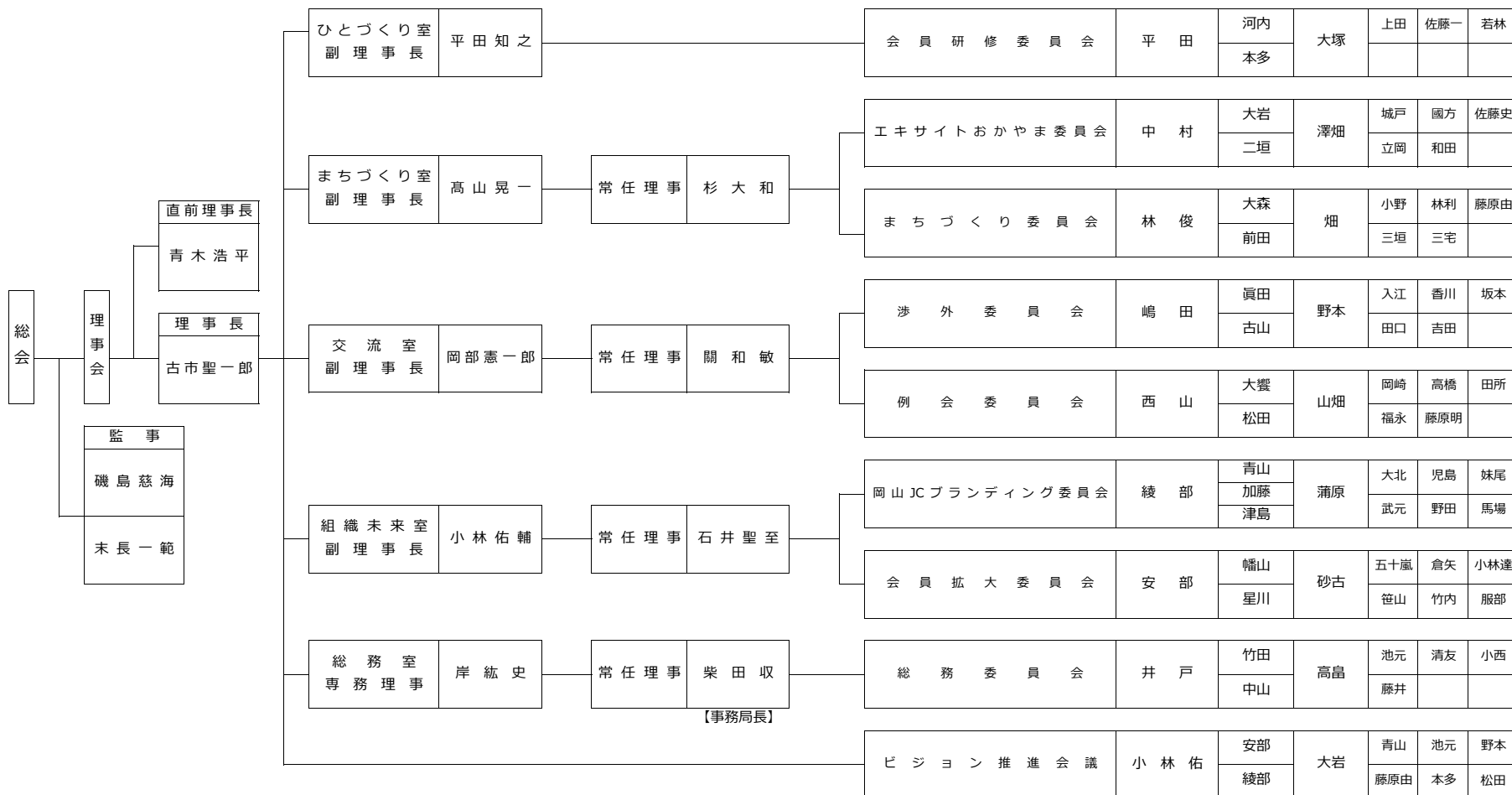
委員会・会議

委員長

副委員長

幹事

委員



【休会者】 木村

公益社団法人日本青年会議所
2019年度 出向者

社会グループ SDGs推進会議
委員 關 和敏
委員 松田 龍乃輔

経済グループ 価値デザイン会議
委員 岡部 憲一郎
委員 田口 貴裕

経済グループ国際ビジネス連携委員会
会計幹事 加藤 高明
委員 武元 浩

組織グループ JC 拡大会議
委員 石井 聖至
委員 服部 悟

総務グループ 報道戦略会議
委員 青山 雅史
委員 高山 晃一
委員 三宅 信也

総務グループ 渉外委員会
運営幹事 二垣 幸広
委員 清友 利昭
委員 眞田 優作
委員 星川 基浩

内部会計監査人グループ
中国地区代表
柴田 収

公益社団法人日本青年会議所
2019年度 中国地区協議会

出向者

会計監査人

柴田 収

総務・広報・渉外委員会

委員長

竹田 直也

副委員長

幡山 益聖

幹事

若林 裕聖

委員

大北 大士郎

福永 涼人

吉田 拓次

和田 晃司

公益社団法人日本青年会議所

2019年度 中国地区 岡山ブロック協議会

出向者

監査担当役員 青木 浩平

監査担当役員幹事 國方 康平
小西 秀斉

副総括幹事 野田 龍太郎

J C運動増強会議 副議長 大饗 千鶴
委員 竹内 優子

傑出した人材育成委員会 副委員長 本多 高明
委員 林 利光

道徳社会創生委員会 副委員長 津島 周史
委員 藤原 明裕

未来ビジョン確立委員会 副委員長 大岩 裕季
委員 岡崎 信英

公益社団法人岡山青年会議所

2019年度 理事長セクレタリー

チーフセクレタリー

大森 将平

セクレタリー

五十嵐 尚輝

妹尾 愛希

公益社団法人岡山青年会議所

2019年度 役員選挙管理委員会

嘱託メンバー

委員長

末長 一範

副委員長

佐藤 史成

幹事

五十嵐 尚輝

委員

笹山 勇二

佐藤 一弥

妹尾 愛希

三垣 章一

公益社団法人 岡山青年会議所
 <参考資料> 収支予算書(案)
 2019年1月1日から2019年12月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	10,000	10,000	0	
特定資産利息収入	10,000	10,000	0	
②受取入金収入	2,200,000	2,400,000	-200,000	
受取入金収入	2,200,000	2,400,000	-200,000	
③会費収入	21,845,000	21,390,000	455,000	
正会員会費収入	18,540,000	18,000,000	540,000	
特別会員会費収入	2,880,000	3,305,000	-425,000	
賛助会員会費収入	0	0	0	
特別会員積立金収入	425,000	85,000	340,000	
④事業収入	0	0	0	
登録料収入	0	0	0	
懇親会収入	0	0	0	
広告料収入	0	0	0	
販売収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
⑤受取補助金等収入	0	0	0	
国庫補助金収入	0	0	0	
⑥受取負担金収入	0	0	0	
受取負担金収入	0	0	0	
⑦受取寄付金収入	220,000	240,000	-20,000	
受取寄付金収入	220,000	240,000	-20,000	
受取募金収入	0	0	0	
⑨雑収入	1,000	1,000	0	
受取利息収入	1,000	1,000	0	
その他雑収入	0	0	0	
⑩他会計からの繰入金収入	0	0	0	
他会計からの繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入計	24,276,000	24,041,000	235,000	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	5,315,000	5,382,000	-67,000	
事業費支出	5,315,000	5,382,000	-67,000	
補助金支出	0	0	0	
事業予備費支出	0	0	0	
②管理費支出	16,920,572	16,262,749	657,823	
総務費支出	600,000	600,000	0	
事務所費支出	3,080,000	3,080,000	0	
会議費支出	0	0	0	
給料手当支出	1,300,000	1,300,000	0	
退職給付手当支出	0	0	0	
福利厚生費支出	0	0	0	
事務委託費支出	919,467	540,000	379,467	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信費支出	600,000	600,000	0	
印刷費支出	1,085,600	1,085,600	0	
消耗品支出	350,000	350,000	0	
会員費支出	1,100,000	1,100,000	0	
例会費支出	3,000,000	1,800,000	1,200,000	
広報費支出	1,817,952	1,704,632	113,320	
特別会員費支出	0	100,000	-100,000	
修繕支出	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
渉外費	309,961	309,961	0	
JCI渉外費	2,060,000	2,000,000	60,000	
備品購入支出	597,592	1,592,556	-994,964	
雑支出	100,000	100,000	0	
管理・運営予備費支出	0	0	0	
③負担金支出	1,908,408	1,861,504	46,904	
加盟団体会費支出	1,908,408	1,861,504	46,904	
地区会費支出	0	0	0	
④他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
事業活動支出計	24,143,980	23,506,253	637,727	
事業活動収支差額	132,020	534,747	-402,727	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入	0	0	0	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
②固定資産売却収入	0	0	0	
什器備品売却収入	0	0	0	
③固定資産取崩収入	0	0	0	
減価償却引当資産取崩収入(その他資産)	0	0	0	
〇〇基金引当資産取崩収入	0	0	0	
④敷金・保証金戻り収入	0	0	0	
敷金戻り収入	0	0	0	
保証金戻り収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出計	0	0	0	
①特定資産取得支出	0	0	0	
退職給付引当資産取得支出	0	0	0	
事業引当資産取得支出	0	0	0	
減価償却引当資産取得支出(特定資産)	0	0	0	
基金引当資産支出	0	0	0	
積立引当資産支出	0	0	0	
②固定資産取得支出	0	0	0	
建物付属設備取得支出	0	0	0	
③敷金・保証金支出	0	0	0	
敷金支出	0	0	0	
保証金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	132,020	534,747	-402,727	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	132,020	534,747	-402,727	

公益社団法人 岡山青年会議所
 <参考資料> 収支予算書内訳表（案）
 2019年1月1日から2019年12月31日まで

（単位：円）

科目	一般会計	事業会計	内部取引 消去	合計
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	10,000	0	0	10,000
特定資産利息収入	10,000			10,000
②受取入金会金収入	2,200,000	0	0	2,200,000
受取入金会金収入	2,200,000			2,200,000
③会費収入	21,845,000	0	0	21,845,000
正会員会費収入	18,540,000			18,540,000
特別会員会費収入	2,880,000			2,880,000
賛助会員会費収入				0
特別会員積立金収入	425,000			425,000
④事業収入	0	0	0	0
登録料収入				0
懇親会収入				0
広告料収入				0
販売収入				0
雑収入				0
⑤受取補助金等収入	0	0	0	0
⑥受取負担金収入	0	0	0	0
受取負担金収入				0
⑦受取寄付金収入	220,000	0	0	220,000
受取寄付金収入	220,000			220,000
受取募金収入				0
⑨雑収入	1,000	0	0	1,000
受取利息収入	1,000			1,000
その他雑収入	0			0
⑩他会計からの繰入金収入	0	5,315,000	-5,315,000	0
他会計からの繰入金収入		5,315,000	-5,315,000	0
事業活動収入計	24,276,000	5,315,000	-5,315,000	24,276,000
2. 事業活動支出				
①事業費支出	0	5,315,000	0	5,315,000
事業費支出		5,315,000		5,315,000
補助金支出				0
事業予備費支出				0
②管理費支出	16,920,572		0	16,920,572
総務費支出	600,000			600,000
事務所費支出	3,080,000			3,080,000
会議費支出				0
給料手当支出	1,300,000			1,300,000
退職給付手当支出				0
福利厚生費支出				0
事務委託費支出	919,467			919,467
旅費交通費支出				0
通信費支出	600,000			600,000
印刷費支出	1,085,600			1,085,600
消耗品支出	350,000			350,000
会員費支出	1,100,000			1,100,000
例会会費支出	3,000,000			3,000,000
広報費支出	1,817,952			1,817,952
特別会員費支出	0			0
修繕支出				0
租税公課	0			0
渉外費	309,961			309,961
J C I 渉外費	2,060,000			2,060,000
備品購入支出	597,592			597,592
雑支出	100,000			100,000
管理・運営予備費支出	0			0
③負担金支出	1,908,408	0	0	1,908,408
加盟団体会費支出	1,908,408			1,908,408
地区会費支出				0
④他会計への繰入金支出	5,315,000	0	-5,315,000	0
他会計への繰入金支出	5,315,000		-5,315,000	0
事業活動支出計	24,143,980	5,315,000	-5,315,000	24,143,980
事業活動収支差額	132,020		0	132,020
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入	0		0	0
②固定資産売却収入	0		0	0
什器備品売却収入				0
③固定資産取崩収入	0		0	0
減価償却引当資産取崩収入（その他資産）				0
④敷金・保証金戻り収入	0		0	0
敷金戻り収入				0
保証金戻り収入				0
投資活動収入計	0		0	0
2. 投資活動支出				
①特定資産取得支出	0		0	0
積立引当財産支出	0			0
②固定資産取得支出	0		0	0
建物付属設備取得支出				0
③敷金・保証金支出	0		0	0
敷金支出				0
保証金支出				0
投資活動支出計	0		0	0
投資活動収支差額	0		0	0
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入				0
財務活動収入計	0		0	0
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出				0
財務活動支出計	0		0	0
財務活動収支差額	0		0	0
IV 予備費支出				
当期収支差額	132,020		0	132,020
前期繰越収支差額			0	0
次期繰越収支差額	132,020		0	132,020

＜参考資料＞ 収支予算書総括表

1 収入の部

科 目	一般会計	事業会計	小 計
経常収支の部			
特定資産利息収入	10,000		10,000
受取利息収入	1,000		1,000
会費収入	18,540,000		18,540,000
入会金収入	2,200,000		2,200,000
寄付金収入	220,000		220,000
雑収入	0		0
基金・積立金取り崩し収入			0
財産運用収入			0
特別会員積立金収入	2,880,000		2,880,000
特別会員会費収入	425,000		425,000
当期収入合計	24,276,000	0	24,276,000
前期繰越収支差額	0	0	0
収入合計	24,276,000	0	24,276,000

2 支出の部

科 目			小 計
管理運営費	9,135,067		9,135,067
例会費	3,000,000		3,000,000
広報費	1,817,952		1,817,952
負担金	1,908,408		1,908,408
租税公課	0		0
渉外費	2,369,961		2,369,961
備品購入支出	597,592		597,592
事業費支出		5,315,000	5,315,000
特別会員費支出	0		0
予備費	0		0
当期支出合計	18,828,980	5,315,000	24,143,980
経常収支差額 ①	5,447,020	-5,315,000	132,020
(1) 積立金振替収支の部			
基金・積立金取り崩し収入	0		0
基金・積立金繰入支出	0		0
積立金振替収支差額 ②	0		0
(2) 振替収支の部			
一般会計より繰入		5,315,000	5,315,000
長期ビジョン基金より繰入			0
事業会計へ繰入	-5,315,000		-5,315,000
特別会員会計へ繰入			0
一般会計へ繰入			0
振替収支差額 ③	-5,315,000	5,315,000	0
次期繰越収支差額①+②+③	132,020	0	132,020

A 1 収入の部

2012年(※公益法人移行に伴う措置)

	人数	入会金免除	会費	入会金	寄付金
会員数	86	—	180,000		
前期新会員	12	—	180,000	100,000	10,000
後期新会員	10	—	90,000	100,000	10,000
日本JC出向者	14				
OB会費振込人数	360		8,000		
2019年に卒業する人数	17		8,000	25,000	5,000

同上

同上

同上

予算の段階では“ゼロ”
2011年度から10億円

2011年度からJISホックス収入は廃止
予算の段階では“ゼロ”

予算の段階では“ゼロ”

ト井の校舎には

繰入がなければ”ゼロ”

積立金収入がなければ”ゼロ”

又第二、第三段は「日蓮の（教）と事功」と題する。

例会費支出	
-------	--

管理運営費支出明細書

人件費

事務委託費

JCI

科目	2009年決算	2010年決算	2011年決算	前期	後期	2012年決算	2013年決算	2014年決算	2015年決算	2016年決算	2017年決算	2018年予算	2019年予算	対18増減	摘要
JCI	125,440	100,440	91,000	62,440	25,000	87,440	64,815	89,586	79,920	119,625	170,053	171,704	178,308	6,604	(2018年86名＋予測新入会員入会者数22名)×1,651
日本JC	725,000	747,500	780,000	595,150	3,950	599,100	654,484	570,000	617,500	780,000	950,340	840,000	855,000	15,000	基本60,000＋(2018年86名＋予測前期新入会員数12名)×5,000＋(予測後期新入会員数10名×2,500)＋270,000×日本JC出向者数
中国地区協議会	44,000	43,000	42,500	35,000	0	35,000	32,000	29,500	35,750	50,000	85,000	100,000	103,000	3,000	(2018年86名＋予測前期新入会員数12名)×1,000＋(予測後期新入会員数10名×500)
岡山ブロック	176,000	172,000	170,000	140,000	2,215	142,215	135,500	143,000	143,000	200,000	243,000	200,000	206,000	6,000	(2018年86名＋予測前期新入会員数12名)×2,000＋(予測後期新入会員数10名×1,000)
国際協力基金	178,850	169,725	166,075	127,750	20,721	148,471	132,530	144,175	135,050	158,775	162,425	189,800	197,100	7,300	(2018年86名＋予測新入会員数22名)×1,825
WE BELIEVE・JCプレス	258,500	253,750	251,750	210,000	8,500	218,500	218,030	204,500	214,500	261,000	260,150	300,000	309,000	9,000	(2018年86名＋予測前期新入会員数12名)×3,000＋(予測後期新入会員数10名×1,500)
おかやま桃太郎まつり	700,000	300,000	300,000	0	300,000	300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	うらじゃ
岡山県青年育成県民会議	10,000	10,000	10,000	10,315	0	10,315	10,000	0	10,000	0	0	0	0	0	
地球市民財団	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
全国城下町青年会議所連絡会議	10,000	10,000	10,000	0	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	0	
岡山市ジュニアオーケストラ後援会	10,000	10,000	10,000	10,000	0	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	0	理事長公職
ふれあいの集い	100,000	100,000	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岡山県FOS少年団連盟	10,000	10,000	10,000	10,315	0	10,315	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	0	理事長公職(岡山県)
岡山警察友の会	10,000	0	10,000	0	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	0	理事長公職(商工会議所関連)
国際貢献トピアの会	0	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2005年に解散しております。
岡山西防犯連絡会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岡山県日韓親善協会	10,000	10,000	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	0	理事長公職(商工会議所関連)
旭川さくらみちの桜を守る会	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	10,000	10,000	0	2015年より再開。
スベシャルオリンピック日本・岡山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
政令都市・岡山誕生イベント実行委員会	500,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
心豊かな岡山っ子応援団		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
UC支援金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岡山っ子育成条例推進会議														0	報奨金
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	2,877,790	1,946,415	1,961,325	1,200,970	390,386	1,591,356	1,287,359	1,230,761	1,285,720	1,629,400	1,930,968	1,861,504	1,908,408	46,904	
			14,910			-369,969	-303,997	-56,598	67,025	398,639	645,248	369,924	279,008		

(B-3) 事業費繰入支出予算明細

科目	2009予算	2010予算	2011予算	2012予算	2013予算	2014予算	2015予算	2016予算	2017予算	2018予算	2019予算	対18増減
会員研修	1,500,000	2,200,000								-		0
エキサイトおかやま委員会											3,200,000	3,200,000
共感溢れるまちおかやま創出										3,300,000		-3,300,000
リソース向上委員会									1,440,000			0
岡山JCの魅力発信								1,050,000				0
スケーラビリティ創造委員会									3,600,000			0
岡山の未来創造								2,300,000				0
渉外委員会									-	500,000		-500,000
交流推進委員会												0
真にありたいまち・おかやま創生							1,950,000	-				0
まちづくり	1,200,000	700,000	900,000	1,100,000	1,830,000	330,000		1,000,000		-		0
会員拡大特別							70,000	-				0
協創力確立委員会						1,920,000						0
岡山JCブランド確立委員会					200,000							0
拡大・広報		3,200,000				148,300						0
一体感ある地域の絆創造				1,000,000								0
うらじゃ支援会議		700,000										0
ローカル・アクティビティ			1,600,000									0
例会委員会										750,000		-750,000
岡山JCブランディング委員会											1,600,000	1,600,000
例会・親睦		16,930,986	3,000,000	1,920,000	1,370,000							0
会員拡大委員会											515,000	515,000
岡山JCパワーブランド確立委員会										832,000		-832,000
拡大推進			150,000									0
アクティブ・シティズン創造		420,000										0
岡山人開発	600,000											0
岡山人育成												0
和のこころ												0
3委員会合同												0
ビジョン推進会議										-		0
事業予備費		2,000,000	800,000									0
事業費 小計	3,300,000	26,150,986	6,450,000	4,020,000	3,400,000	2,398,300	2,020,000	4,350,000	5,040,000	5,382,000	5,315,000	-67,000

例会事業費	2009予算	2010予算	2011予算	2012予算	2013予算	2014予算	2015予算	2016予算	2017予算	2018予算	2019予算	対18増減
08例会事業費												0
09例会事業費	4,000,000											0
10例会事業費		3,800,000										0
1月 例会・賀詞交換会			1,000,000	840,000	840,000	300,000	300,000	900,000	800,000	800,000	800,000	0
2月 例会												0
3月 例会												0
3月 プロ長公式訪問例会			100,000									0
4月 企画例会			312,000		950,000		200,000		200,000	200,000	250,000	50,000
5月 公開例会			1,000,000	950,000							1,000,000	1,000,000
6月 例会												0
7月 第一例会												0
7月 第二例会												0
8月 例会												0
9月 第一例会			100,000									0
9月 OB合同例会			500,000	230,000	230,000		600,000	-		300,000	300,000	0
10月 公開例会			1,000,000	130,000								0
11月 例会												0
12月 さよなら例会			790,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	500,000	650,000	150,000
12月 第二例会												0
例会事業予備費						350,000						0
小計	4,000,000	3,800,000	4,802,000	2,530,000	2,400,000	1,030,000	1,480,000	1,280,000	1,380,000	1,800,000	3,000,000	1,200,000

合計	7,300,000	29,950,986	11,252,000	6,550,000	5,800,000	3,428,300	3,500,000	5,630,000	6,420,000	7,182,000	8,315,000	1,133,000
----	-----------	------------	------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

※2012年から例会例会費は、OB合同＋さよなら例会の合計

※2015年は65周年記念式典・祝賀会

広報費	2009予算	2010予算	2011予算	2012予算	2013予算	2014予算	2015予算	2016予算	2017予算	2018予算	2019予算	対18増減
HP作成費用				315,000	551,000	234,950	595,953	346,626	334,800	366,120	453,600	87,480
暖流費用				1,472,725	1,388,520	1,430,415	1,767,321	346,626	1,341,552	1,338,512	1,364,352	25,840
岡山青年会議所拡大パンフレット							89,640	346,626	170,000	-		0
合計				1,787,725	1,939,520	1,665,365	2,452,914	1,039,878	1,846,352	1,704,632	1,817,952	113,320

公益社団法人 岡山青年会議所
収支予算書（案）
2019年1月1日から2019年12月31日まで

（単位：円）

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	10,000	10,000	0	
特定資産利息収入	10,000	10,000	0	
②受取入会金収入	2,200,000	2,400,000	-200,000	
受取入会金収入	2,200,000	2,400,000	-200,000	
③会費収入	21,845,000	21,390,000	455,000	
正会員会費収入	18,540,000	18,000,000	540,000	
特別会員会費収入	2,880,000	3,305,000	-425,000	
特別会員積立金収入	425,000	85,000	340,000	
④事業収入	32,530,360	50,795,860	-18,265,500	
登録料収入	15,758,000	36,428,500	-20,670,500	
広告料収入	16,772,360	14,367,360	2,405,000	
⑤受取補助金等収入	0	200,000	-200,000	
⑥受取負担金収入	500,000	0	0	
⑦受取寄付金収入	220,000	240,000	-20,000	
受取寄付金収入	220,000	240,000	-20,000	
受取募金収入	0	0	0	
⑧雑収入	1,000	1,000	0	
受取利息収入	1,000	1,000	0	
雑収入			0	
事業活動収入計	57,306,360	75,036,860	-18,230,500	
2. 事業活動支出	0	0	0	
①事業費支出	0	0	0	
事業費支出	0	0	0	
②管理費支出	55,265,932	72,472,579	-17,206,647	
総務費支出	600,000	600,000	0	
事務所費支出	3,080,000	3,080,000	0	
会議費支出	0		0	
給料手当支出	1,300,000	1,300,000	0	
退職給付手当支出	0		0	
福利厚生費支出	0		0	
事務委託費支出	919,467	540,000	379,467	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信費支出	997,956	1,153,306	-155,350	
印刷費支出	2,341,800	2,456,364	-114,564	
消耗品支出	876,318	529,760	346,558	
光熱水料金支出	19,872			
会員費支出	1,100,000	1,100,000	0	
例会費支出	0	0	0	
広報費支出	0	0	0	
特別会員費支出	0	100,000	-100,000	
修繕支出	0	0	0	
租税公課	200	200	0	
渉外費	309,961	309,961	0	
J C I 渉外費	2,060,000	2,000,000	60,000	
備品購入支出	597,592	1,592,556	-994,964	
雑支出	101,080	110,000	-8,920	
貸借料	4,274,732	3,720,708	554,024	
保険料	106,270	36,830	69,440	
諸謝金	2,156,160	1,025,315	1,130,845	
委託費	16,062,869	37,401,731	-21,338,862	
助成金	16,681,750	14,349,162	2,332,588	
接待交際費	896,956	860,596	36,360	
予備費	782,949	206,090	576,859	
③負担金支出	1,908,408	1,861,504	46,904	
加盟団体会費支出	1,908,408	1,861,504	46,904	
④他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
事業活動支出計	57,174,340	74,334,083	-17,159,743	
事業活動収支差額	132,020	702,777	-570,757	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
保証金戻り収入			0	
投資活動収入計			0	
2. 投資活動支出計			0	
①特定資産取得支出	0	0	0	
積立引当財産支出		0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入			0	
財務活動収入計			0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	132,020	702,777	-570,757	
前期繰越収支差額			0	
次期繰越収支差額				

0

公益社団法人 岡山青年会議所
正味財産増減計算書（案）
2019年1月1日から2019年12月31日まで

（単位：円）

科目	予算額	予算額（公益）	予算額（共益等）	前年度予算額	差額
一般正味財産増減の部					
経常収益					
基本財産運用益	10,000	10,000		10,000	0
基本財産受取利息	10,000	10,000		10,000	0
特定資産運用益					0
特定資産受取利息					0
受取入金金	2,200,000	1,100,000	1,100,000	2,400,000	-200,000
受取入金金	2,200,000	1,100,000	1,100,000	2,400,000	-200,000
受取会費	21,845,000	10,922,500	10,922,500	21,390,000	455,000
正会員受取会費	18,540,000	9,270,000	9,270,000	18,000,000	540,000
特別会員受取会費	2,880,000	1,440,000	1,440,000	3,305,000	-425,000
特別会員積立金収入	425,000	212,500	212,500	85,000	340,000
事業収益	32,530,360	25,418,360	7,114,000	50,795,860	-18,265,500
青少年育成事業収益	1,320,000	1,320,000	0	3,325,000	-2,005,000
人材育成事業収益	0	2,000,000	0	0	0
地域活性化事業収益	24,096,360	22,096,360	0	39,867,360	-15,771,000
会員研修事業収益	7,114,000	0	7,114,000	7,603,500	-489,500
受取補助金等	0	0		200,000	-200,000
受取負担金	500,000				500,000
受取負担金	500,000	500,000			500,000
受取負担金振替額					
受取寄付金	220,000	220,000		240,000	-20,000
受取寄付金	220,000	220,000		240,000	-20,000
募金収益					
受取寄付金振替額					
雑収益	1,000	500	500	1,000	0
受取利息	1,000	500	500	1,000	0
有価証券運用益	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0
経常収益計	57,306,360	37,669,360	19,137,000	75,036,860	-18,230,500
経常費用					
事業費	49,299,855	39,174,206	10,125,649	66,721,599	-17,421,744
給料手当	1,137,500	975,000	162,500	1,137,500	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0
接待交際費	896,956	0	896,956	860,596	36,360
福利厚生費	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0
通信運搬費	922,956	654,184	268,772	1,078,306	-155,350
減価償却費	0	0	0	0	0
什器備品費	522,893	448,194	74,699	1,393,486	-870,593
消耗品費	832,568	714,097	118,471	486,010	346,558
印刷製本費	2,206,100	2,070,400	135,700	2,320,665	-114,565
燃料費	0	0	0	0	0
光熱水料費	19,872	19,872	0	0	19,872
賃借料	6,969,732	5,819,252	1,150,480	6,415,708	554,024
保険料	106,270	106,270	0	36,830	69,440
諸謝費	2,156,160	2,053,200	102,960	1,025,315	1,130,845
租税公課	200	200	0	200	0
支払負担金	0	0	0	0	0
支払助成金	16,681,750	16,681,750	0	14,349,162	2,332,588
支払寄付金	0	0	0	0	0
委託費	16,062,869	9,072,598	6,990,271	37,401,731	-21,338,862
有価証券運用費	0	0	0	0	0
雑費	1,080	1,080	0	10,000	-8,920
予備費	782,949	558,109	224,840	206,090	576,859
管理費	7,874,485		7,874,485	7,612,484	262,001
給料手当	162,500		162,500	162,500	0
臨時雇賃金	0		0	0	0
接待交際費	0		0	0	0
福利厚生費	0		0	0	0
旅費交通費	0		0	0	0
通信運搬費	75,000		75,000	75,000	0
減価償却費	0		0	0	0
什器備品費	74,699		74,699	199,070	-124,371
消耗品費	43,750		43,750	43,750	0
印刷製本費	135,700		135,700	135,700	0
燃料費	0		0	0	0
光熱水料費	0		0	0	0
賃借料	385,000		385,000	385,000	0
保険料	0		0	0	0
諸謝費	0		0	0	0
租税公課	0		0	0	0
支払負担金	1,908,408		1,908,408	1,861,504	46,904
支払助成金	0		0	0	0
支払寄付金	0		0	0	0
委託費	2,619,467		2,619,467	2,340,000	279,467
有価証券運用費	0		0	0	0
雑費	2,469,961		2,469,961	2,409,960	60,001
経常費用計	57,174,340	39,174,206	18,000,134	74,334,083	-17,159,743
当期経常増減額	132,020	-1,504,846	1,136,866	702,777	-1,070,757
当期一般正味財産増減	132,020	-1,504,846	1,136,866	702,777	-1,070,757
一般正味財産期首残高				53,242,133	0
一般正味財産期末残高				53,944,910	

公益目的事業比率	39,174,206	=	0.685
	57,174,340		

(單位：円)

科目	公益目的事業				収益事業等		法人会計	内部取引	合計
	公1 青少年育成	公2 人材育成	公3 地域活性化	共通	小計	他1 会員研修			
一般正味財産増減の部									
経常収益									
基本財産運用益				10,000	10,000				10,000
受取入会金				10,000	10,000				10,000
受取会費	0	0	0	1,100,000	1,100,000	550,000	550,000	550,000	0
受取入会金	0	0	0	1,100,000	1,100,000	550,000	550,000	550,000	0
正会員受取会費				10,922,500	10,922,500	5,461,250	5,461,250	5,461,250	21,845,000
特別会員受取会費				9,270,000	9,270,000	4,635,000	4,635,000	4,635,000	18,540,000
特別会員積立金収入				1,440,000	1,440,000	720,000	720,000	720,000	2,880,000
事業収益	1,320,000	2,000,000	22,096,360	212,500	212,500	106,250	106,250	106,250	425,000
青少年育成事業収益	1,320,000				25,416,360	7,114,000	7,114,000		32,530,360
人材育成事業収益					1,320,000				1,320,000
地域活性化事業収益		2,000,000	22,096,360		24,096,360				24,096,360
会員研修事業収益						7,114,000	7,114,000		7,114,000
受取補助金等	0	0	0		0				
受取国庫補助金	500,000				500,000				500,000
受取負担金	500,000				500,000				500,000
受取寄付金				220,000	220,000			0	220,000
雑収益				500	500	250	250	250	1,000
受取利息				500	500	250	250	250	1,000
有価証券運用益									
雑収益									
経常収益計	1,820,000	2,000,000	22,096,360	12,253,000	38,169,360	13,125,500	13,125,500	6,011,500	57,306,360
経常費用									
事業費	3,388,193	3,785,012	32,001,001		39,174,206	10,125,649	10,125,649		49,299,851
給料手当	68,250	75,075	831,675		975,000	162,500	162,500		1,137,500
臨時雇賃金					0				0
接待交際費					0	896,956	896,956		896,956
福利厚生費					0				0
旅費交通費					0				0
通信運搬費	80,454	34,916	538,814		654,184	268,772	268,772		922,956
減価償却費	31,374	34,511	382,309		448,194	74,699	74,699		522,893
什器備品費	108,535	20,813	584,749		714,097	118,471	118,471		832,566
消耗品費	56,994	87,693	1,925,713		2,070,400	135,700	135,700		2,206,100
印刷製本費					0				0
燃料費	19,872				19,872				19,872
光熱水料費	945,456	1,365,770	3,508,026		5,819,252	1,150,480	1,150,480		6,969,732
賃借料	30,900		75,370		106,270				106,270
保険料		1,903,200	150,000		2,053,200	102,960	102,960		2,156,160
諸謝費					200				200
租税公課		200			200				0
支払負担金			16,681,750		16,681,750				16,681,750
支払助成金					0				0
支払寄付金					0				0
委託費	1,973,860	206,158	6,892,580		9,072,598	6,990,271	6,990,271		16,062,869
有価証券運用費					0				0
雑費			1,080		1,080				1,080
雑支出	72,498	56,676	428,935		558,109	224,840	224,840		782,944
管理費								7,874,485	0
役員報酬								162,500	162,500
給料手当									
退職給付費用									
福利厚生費									
会議費									
旅費交通費									
通信運搬費								75,000	75,000
減価償却費									
什器備品費								74,699	74,699
消耗品費								43,750	43,750
修繕費									
印刷製本費								135,700	135,700
燃料費									
光熱水料費									
賃借料									
保険料								385,000	385,000
諸謝費									
租税公課									
支払負担金								1,908,408	1,908,408
支払寄付金									
支払利息									
委託費								600,000	600,000
委託費								919,467	919,467
委託費								1,100,000	1,100,000
委託費								0	0
委託費								0	0
雑費								309,961	309,961
雑費								100,000	100,000
雑支出									
経常費用計	3,388,193	3,785,012	32,001,001	0	39,174,206	10,125,649	10,125,649	7,874,485	57,174,344
評価損益等調整前当期経常増減額									
特定資産評価損益等									
評価損益等計	-1,568,193	-1,785,012	-9,904,641	12,253,000	-1,004,840	2,999,851	2,999,851	-1,862,985	132,020
当期経常増減額									
経常外費用計									
当期経常外増減額	-1,568,193	-1,785,012	-9,904,641	12,253,000	-1,004,840	2,999,851	2,999,851	-1,862,985	132,020
当期一般正味財産増減	-1,568,193	-1,785,012	-9,904,641	12,253,000	-1,004,840	2,999,851	2,999,851	-1,862,985	132,020
一般正味財産期首残高									

[illegible]

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度理事長公職

岡山県青少年育成県民会議 常任理事

岡山県FOS少年団連盟 理事

社会福祉法人岡山県共同募金会 評議委員

岡山中央暴力追放推進協議会 会員

岡山県西暴力追放推進協議会 会員

「小さな親切」運動岡山本部 役員

第68回”社会を明るくする運動”岡山県推進委員会 委員

自然と共生プロジェクト推進会議 委員

国立吉備少年自然の家 施設業務運営委員会 委員

岡山市交通安全対策協議会 委員

岡山国際音楽祭実行委員会 委員

公益財団法人岡山市公園協会 評議委員

春の花いっぱい運動 主催団体

MOMOTAROU FANTASY 実行委員会 実行委員長

「心豊かな岡山っ子」応援団 副団長

岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会 実行委員

岡山地方裁判所委員会 委員

岡山市ジュニアオーケストラ後援会 理事

岡山まちとモビリティ研究会 会員

岡山っ子育成樹齢推進会議 委員

旭川さくらみちの桜を守る会 理事

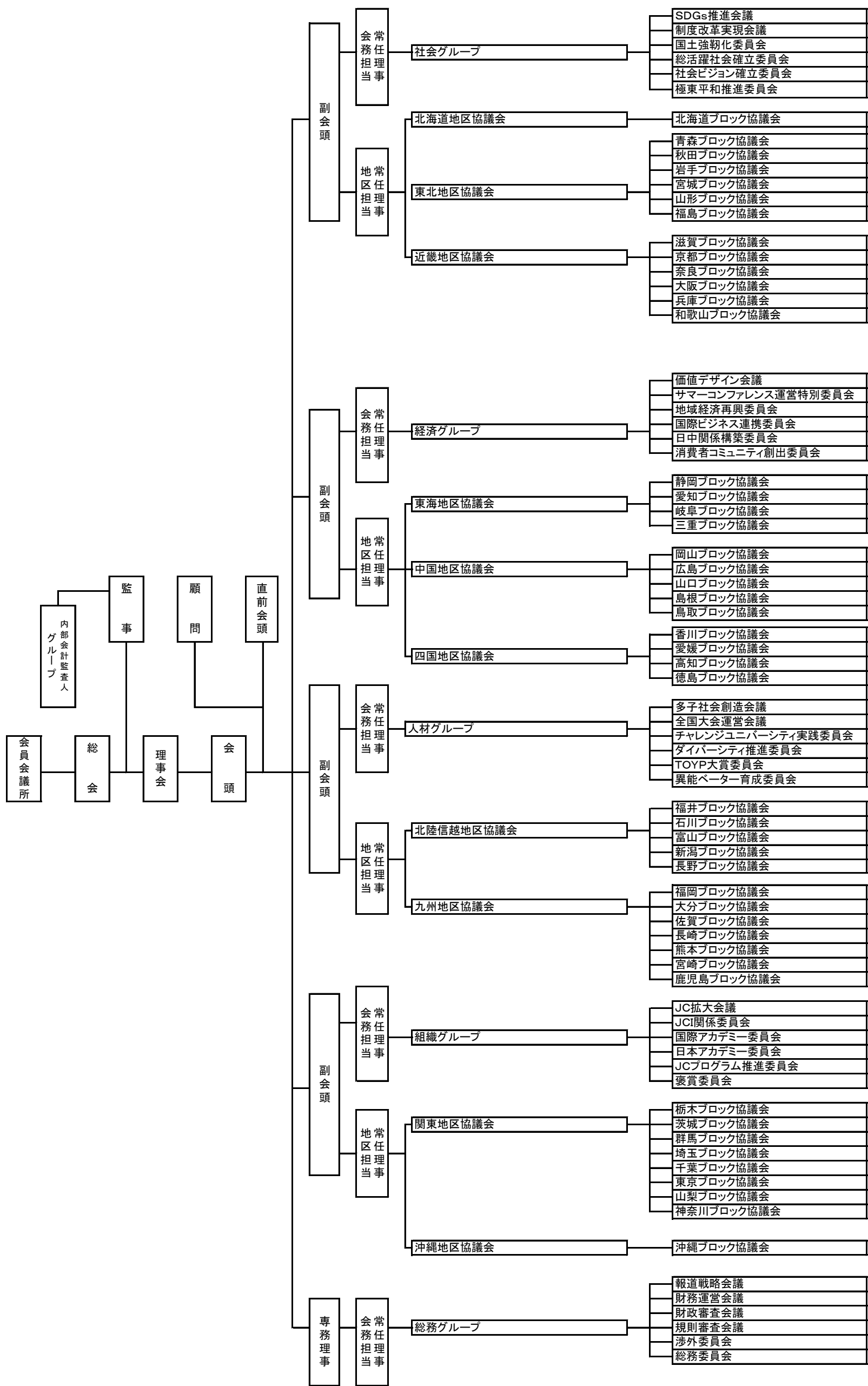
旭川かわまちづくり計画事業推進会議 委員

岡山県日韓親善協会 理事

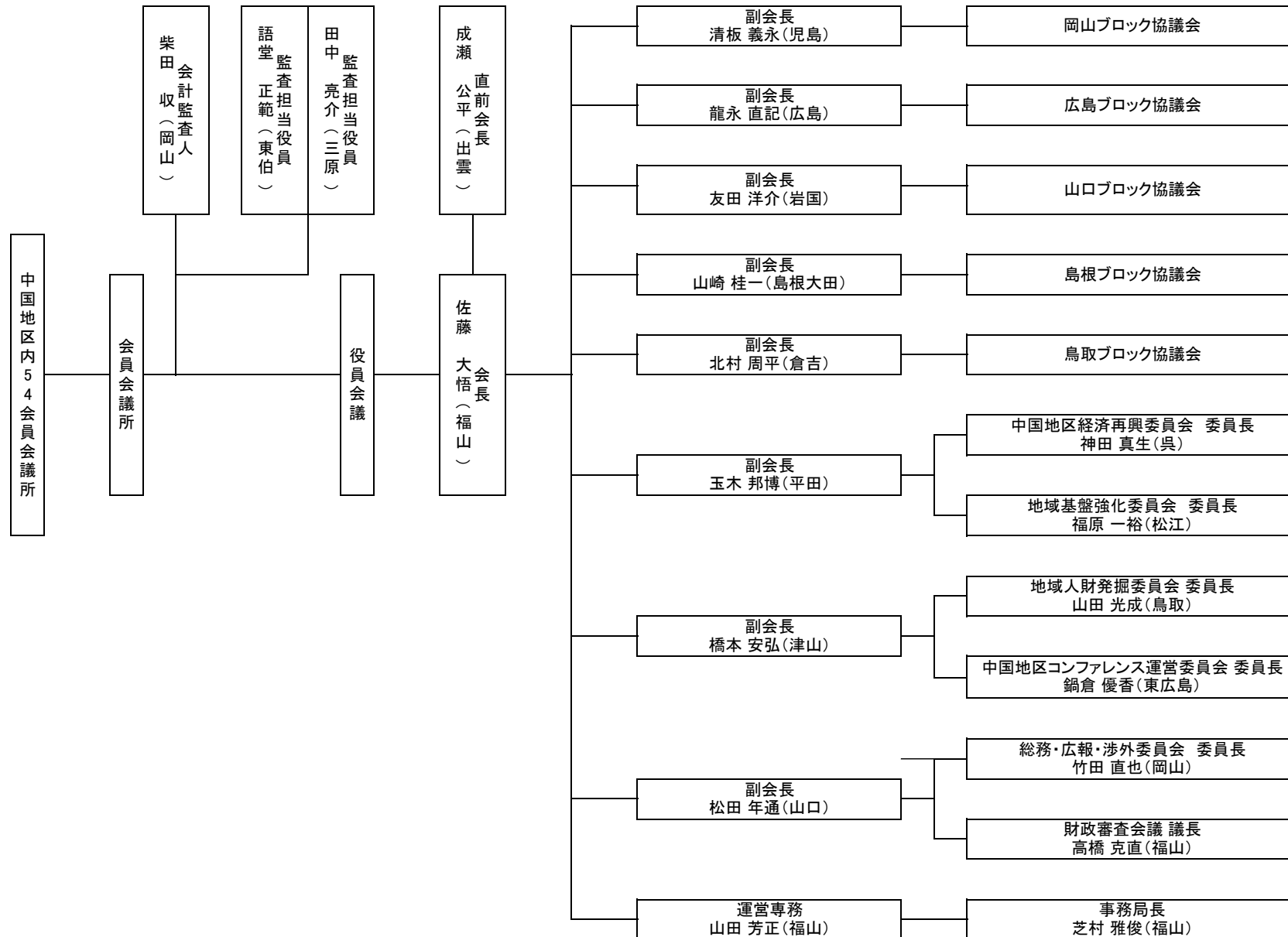
岡山県警察友の会 会員

「6月1日岡山市民の日」推進協議会 理事

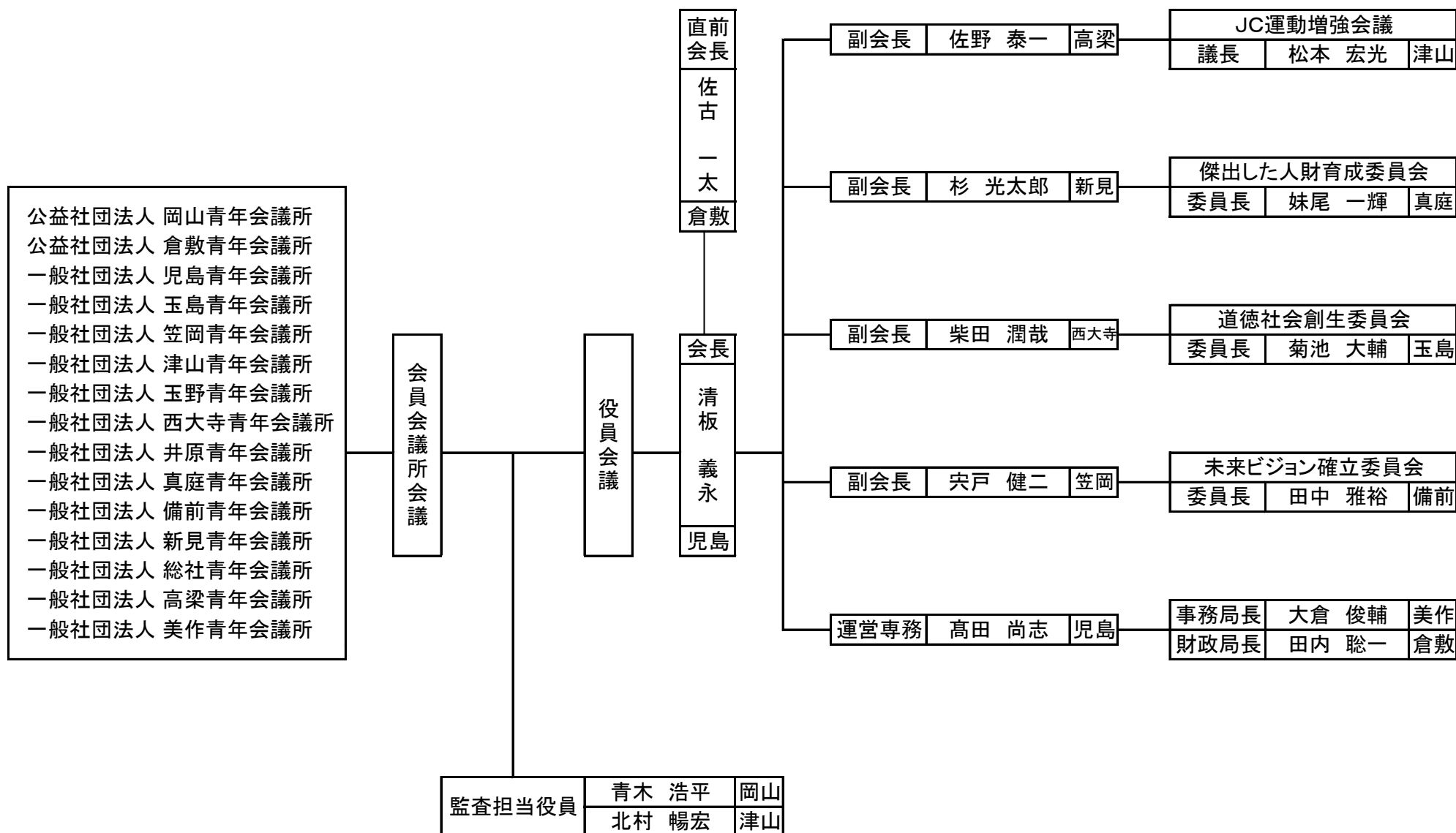
公益社団法人 日本青年会議所
2019年度 基本資料(案)
組 織 図



2019年度公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 組織図(案)



公益社団法人 日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 2019年度 組織図(案)



公益社団法人岡山青年会議所 歴代理事長

初代	1951年	江見祐吉	第35代	1985年	小嶋光信
第2代	1952年	江見祐吉	第36代	1986年	末長範彦
第3代	1953年	松田基	第37代	1987年	伊原木省五
第4代	1954年	松田基	第38代	1988年	池田金治郎
第5代	1955年	服部好郎	第39代	1989年	若林昭吾
第6代	1956年	稲田洋一	第40代	1990年	中島康博
第7代	1957年	藤木昌二	第41代	1991年	永野資幸
第8代	1958年	池田徳五郎	第42代	1992年	松田久
第9代	1959年	庭瀬欣一郎	第43代	1993年	服部恭一郎
第10代	1960年	松田堯	第44代	1994年	柳井淳
第11代	1961年	関種雄	第45代	1995年	森下矢須之
第12代	1962年	西下賢治	第46代	1996年	西康宏
第13代	1963年	逢沢英雄	第47代	1997年	梶谷俊介
第14代	1964年	石原真臣	第48代	1998年	稲荷泰瑛
第15代	1965年	小林達也	第49代	1999年	永山久人
第16代	1966年	中島輝夫	第50代	2000年	黒瀬仁志
第17代	1967年	黒瀬友近	第51代	2001年	西川智晴
第18代	1968年	小林稔	第52代	2002年	岡崎正裕
第19代	1969年	奥山勝太郎	第53代	2003年	藤原史暁
第20代	1970年	中島博	第54代	2004年	梶原康彦
第21代	1971年	木原佑一	第55代	2005年	八木一成
第22代	1972年	黒瀬敦美	第56代	2006年	占部守弘
第23代	1973年	中野英一	第57代	2007年	吉村武大
第24代	1974年	徳元秀臣	第58代	2008年	石田敦志
第25代	1975年	福武和彦	第59代	2009年	永山雅己
第26代	1976年	片山義久	第60代	2010年	岸本浩二
第27代	1977年	伊原木一衛	第61代	2011年	中山賢太郎
第28代	1978年	石田規夫	第62代	2012年	有松林太郎
第29代	1979年	藤原敬介	第63代	2013年	尾崎茂
第30代	1980年	前坂匡紀	第64代	2014年	鈴森賢史
第31代	1981年	服部弘平	第65代	2015年	久松朋史
第32代	1982年	野津喬	第66代	2016年	佐野範一
第33代	1983年	岡崎彬	第67代	2017年	高見宣哉
第34代	1984年	滝澤輝治	第68代	2018年	青木浩平

(敬称略)